

長岡市の現況整理（社会状況）

1. 位置

長岡市は、新潟県のほぼ中央部に位置しており、近年の平成17年、平成18年、平成22年の市町村合併により海岸部から山間部まで、約890km²の広範囲の市域を持っています。旧11自治体では旧地域を形成する拠点があります。



図 長岡市の位置

2. 地勢

市の中央部を、日本一の長さと流量を誇る信濃川が縦断し、その兩岸に肥沃な沖積平野が広がり、その東西には、東山連峰と西山丘陵が連なっています。また、日本海に面する寺泊地域には南北に約16kmの海岸線があります。

高速交通網としては、上越新幹線と関越・北陸自動車道が整備されており、首都圏や北陸・東北方面と本市とを結んでいます。市内には、複数のインターチェンジが設置されており、一般国道や県道などと結ばれています。

公共交通を運行するにあたっては、地形的な制約から、信濃川を横断する移動手段や山々を越える移動手段、離れた地域へアクセスする移動手段など、さまざまな公共交通を確保する必要があります。

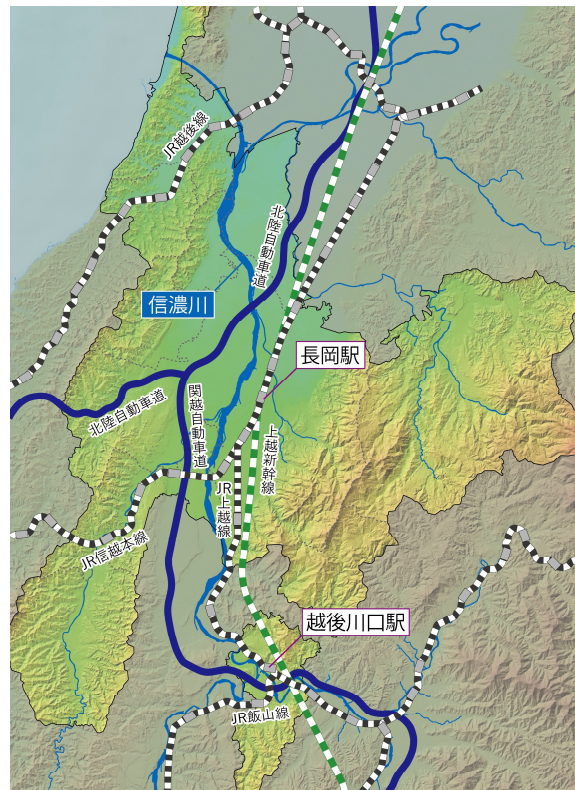


図 長岡市の地勢

3. 人口

(1) 人口と世帯

長岡市の総人口は、平成 17 年の合併以降減少しており、令和 3 年では 26.5 万人となっています。一方、世帯数は増加しており、令和 3 年では 10.8 万世帯です。その結果、1 世帯当たりの人数は減少し 2.43 人/世帯です。平成 18 年と比較すると約 0.5 人/世帯減少しています。

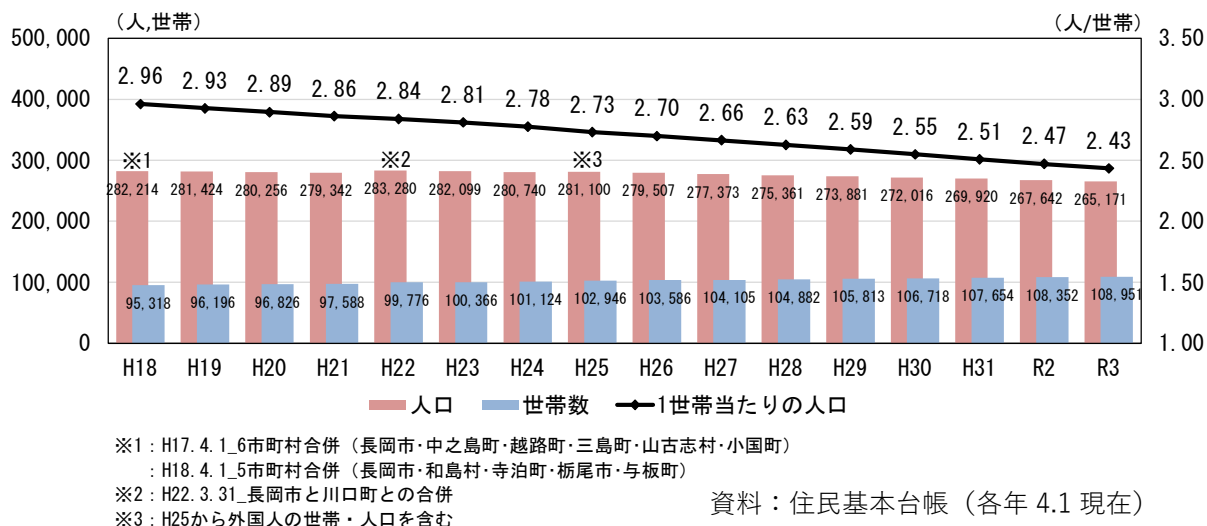
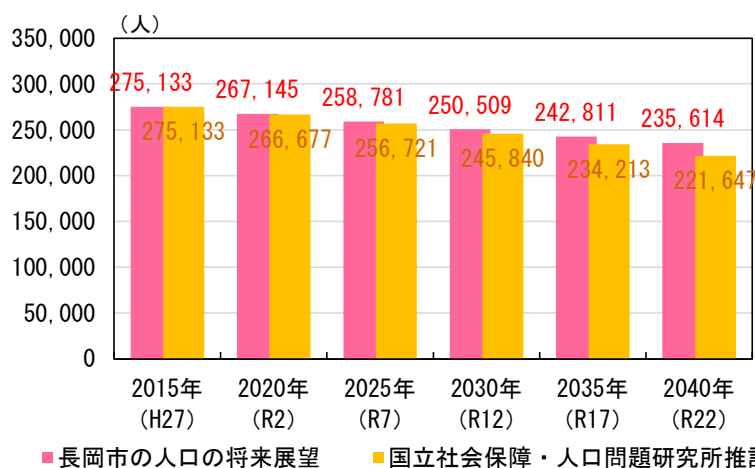


図 人口と世帯数の推移

(2) 将来人口

長岡市の将来人口は更に減少することが予想され、長岡市の将来展望では令和 7 年では 25.9 万人と、前述の令和 3 年と比較すると 4 年間で 0.6 万人の減少となることが予想されています。

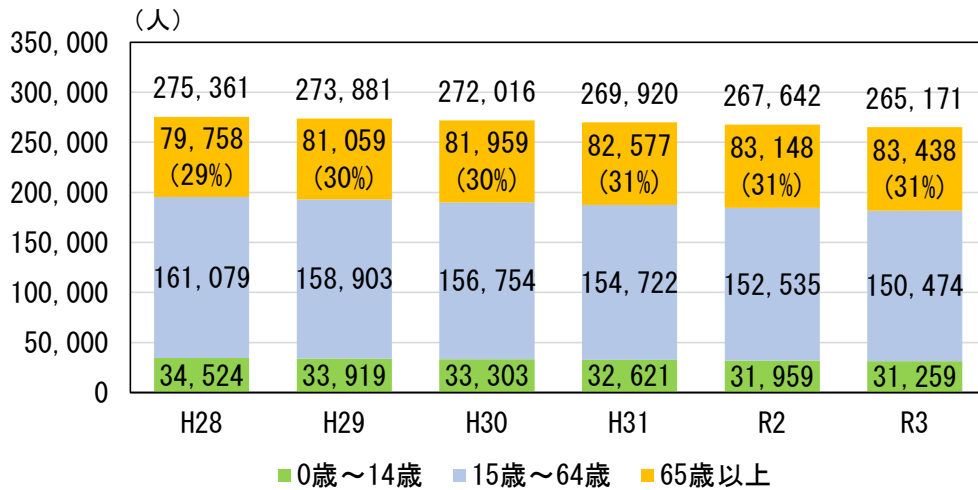


資料：第 2 期長岡市まち・ひと・しごと創生 総合戦略/人口ビジョン

図 人口と世帯数の推移

(3) 高齢化

人口減少が進んでいる中で、65歳以上の高齢者は増加しています。そのため、高齢化率は増加しており、令和3年では8.3万人（高齢化率：31%）です。



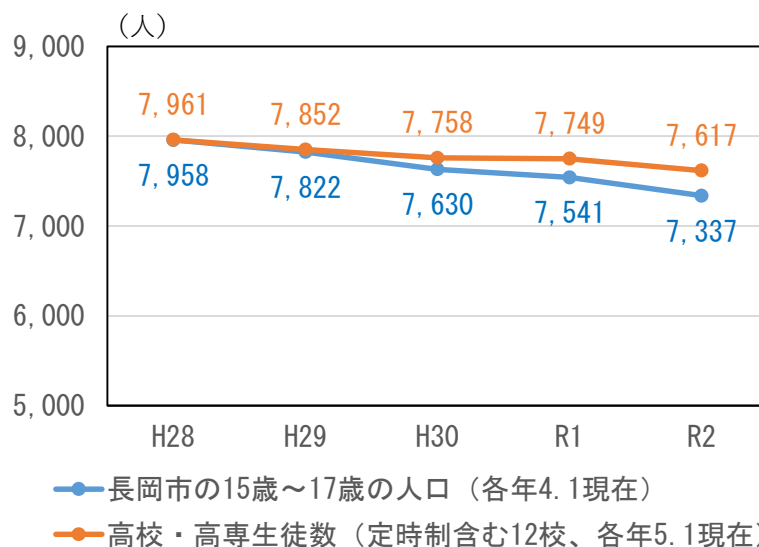
※高齢化率：65歳以上人口が総人口に占める割合

資料：住民基本台帳（各年4.1現在）

図 年齢層の推移

(4) 高校生等

全体的な人口減少で、長岡市内の15歳～17歳の人口も減少しており、令和2年では約7,300人です。また、市内の高校等に通学する生徒数も減少していますが、令和2年では約7,600人と、市内の15歳～17歳の人口を上回っており、高校生等では、市外から約300人の流入超過です。

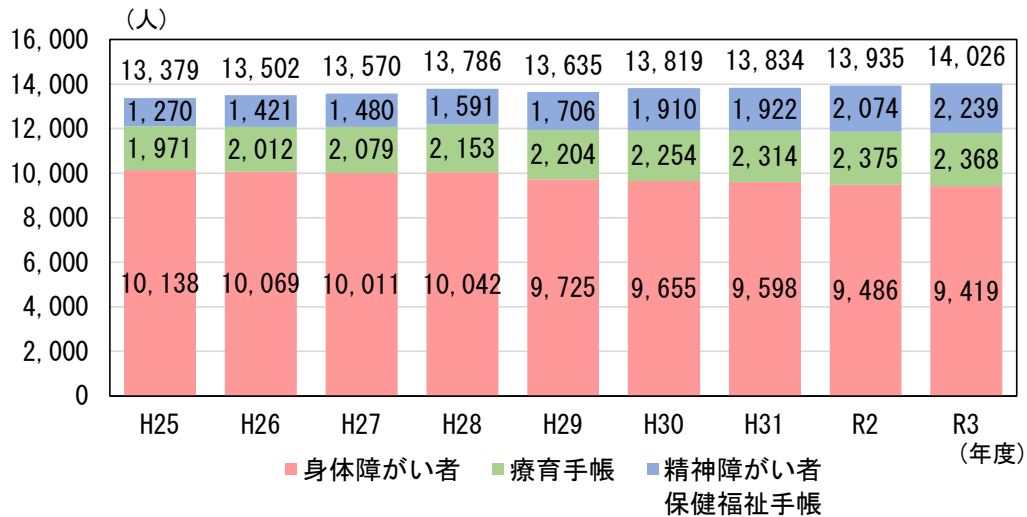


資料：新潟県教育庁総務課「学校要覧」

図 高校生相当の人口と高校等生徒数

(5) 障がい者

本市における障がい者手帳の所持者数は、平成 25 年度から令和 3 年度にかけて増加傾向にあります。



資料：長岡市統計年鑑

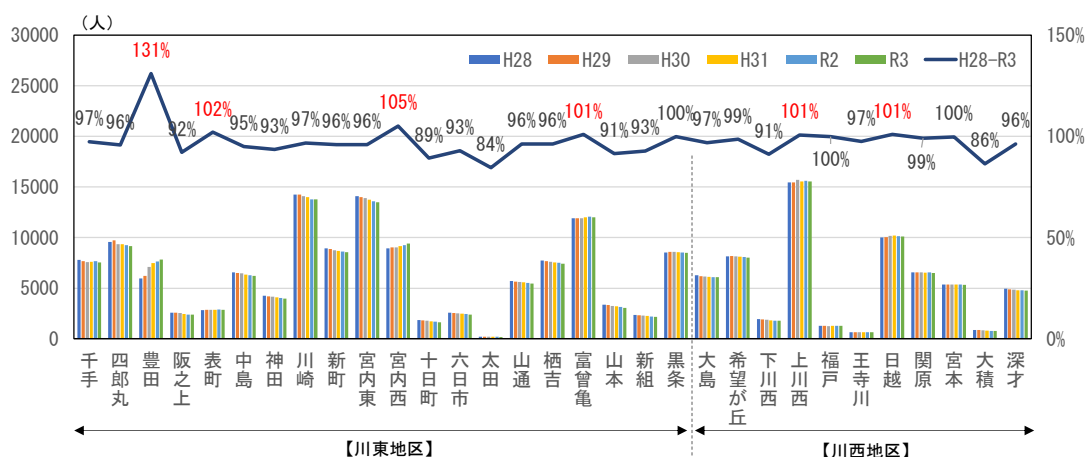
図 障がい者手帳所持者数の推移

(6) 地域別

1) 人口

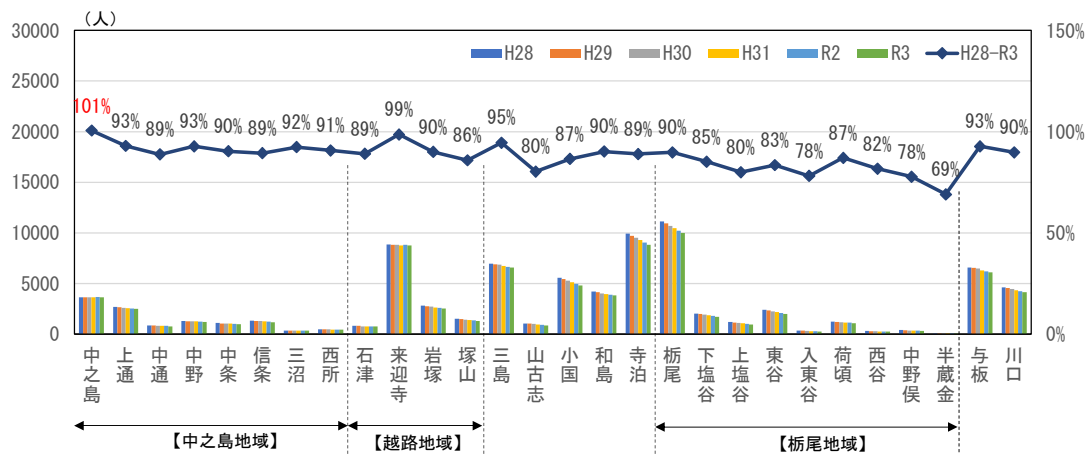
平成 28 年から令和 3 年にかけて全体的に減少していますが、「豊田」「表町」「宮内西」「富曾亀」「上川西」「日越」「中之島」で人口が増加しています。増加率は「豊田」で 131%と大きく増加している理由としては、立川総合病院の移転や、ショッピングセンターのオープンに関連して、新たに宅地開発が行われたためと考えられます。

また、支所地域では、長岡地域（川東地区・川西地区）より人口が少ない中で、増加率も低く、「山古志」「小国」「和島」「寺泊」「栃尾」「川口」では約 70~90%に減少しており、地域によって人口の変化が大きく異なっています。



資料：住民基本台帳（各年 4.1 現在）

図 人口の推移と増加率（5 年間）

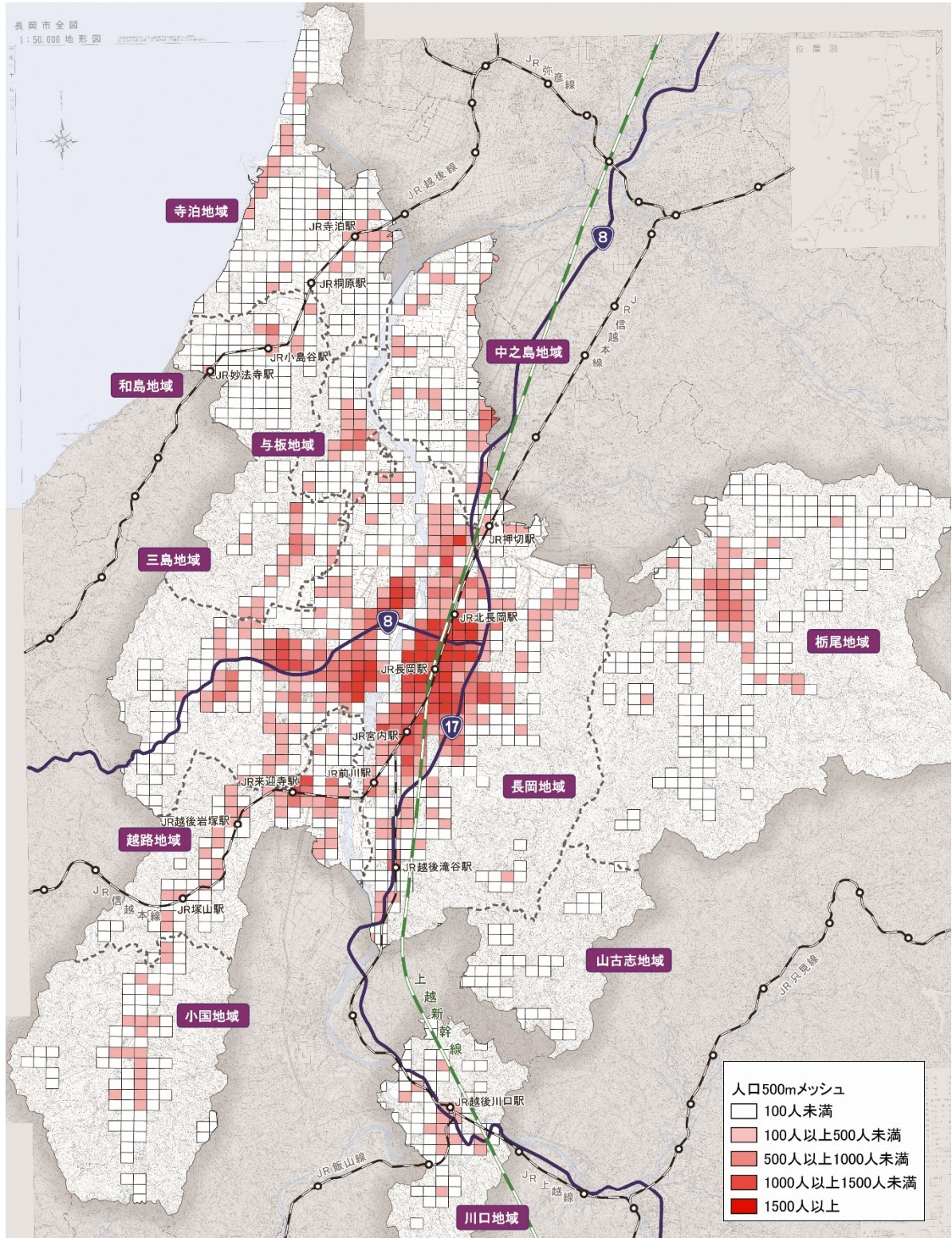


資料：住民基本台帳（各年 4.1 現在）

図 人口の推移と増加率（5 年間）

■人口分布

長岡地域に人口が集中していますが、各地域内でも人口が多い地域と少ない地域があり、市全体的に人口が広く分散しています。

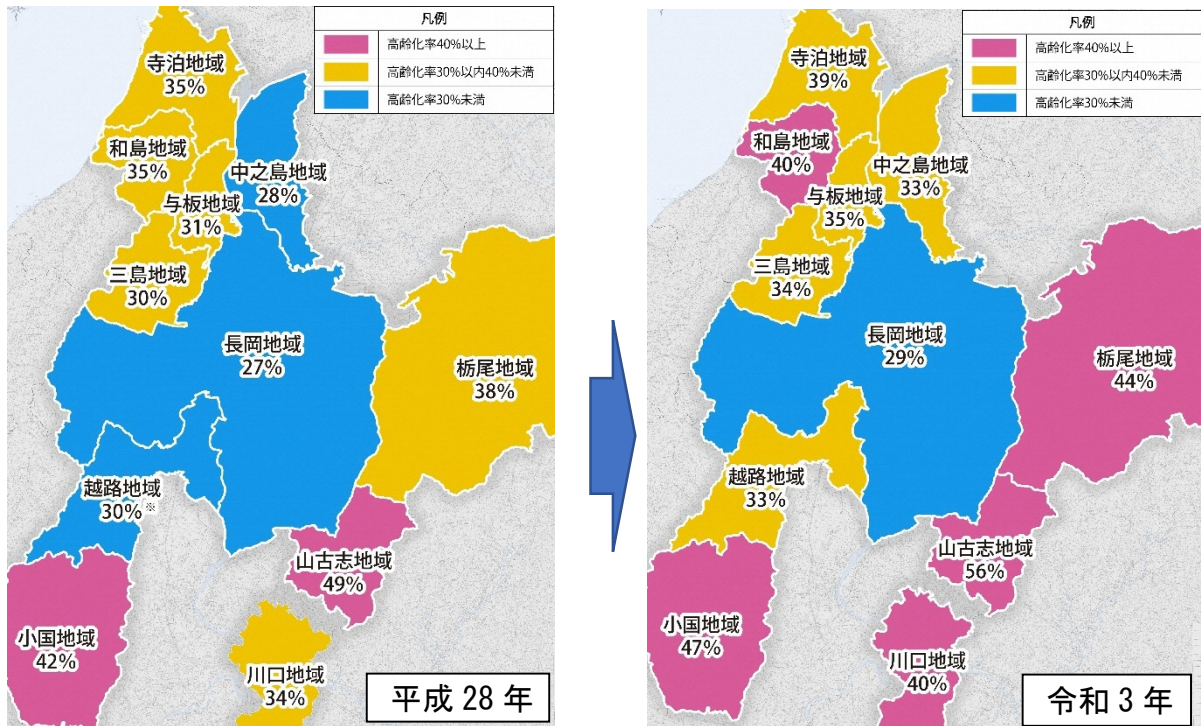


資料：R2 国勢調査

図 人口分布

2) 高齢化

高齢化率は支所地域で高まっており、平成 28 年と比較すると 40%以上の地域が 2 地域から 5 地域に増加しています。また、「中之島」「山古志」「小国」「和島」「栃尾」「川口」地域では、平成 28 年から 5%以上高くなっており、急速に高齢化が進んでいます。尚、令和 3 年現在で 30%未満の地域は、市中心部の長岡地域のみです。



※越路地域は四捨五入により 30%となっています。

資料：住民基本台帳（各年 4.1 現在）

図 高齢化率の変化

4. 市外との移動

(1) 就業者

流入については、見附市(6.9千人)が最も多く、次いで小千谷市(4.0千人)が多くなっています。流出については、小千谷市(3.5千人)が最も多く、次いで見附市(3.3千人)が多くなっています。全体として流入人口が約6千人多いです。

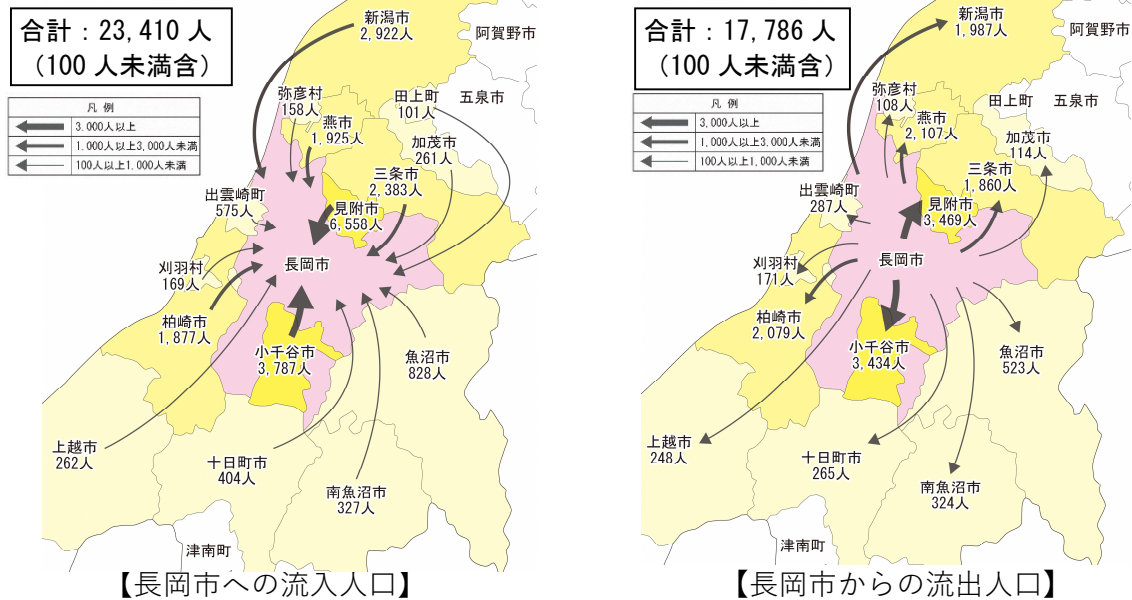


図 15歳以上の就業者の移動

資料：R2 国勢調査

(2) 通学者

流入については、見附市(700人)が最も多く、次いで小千谷市(427人)が多くなっています。流出については、新潟市(1,052人)が最も多く、次いで小千谷市(402人)が多くなっています。全体として流入人口が約700人多いです。

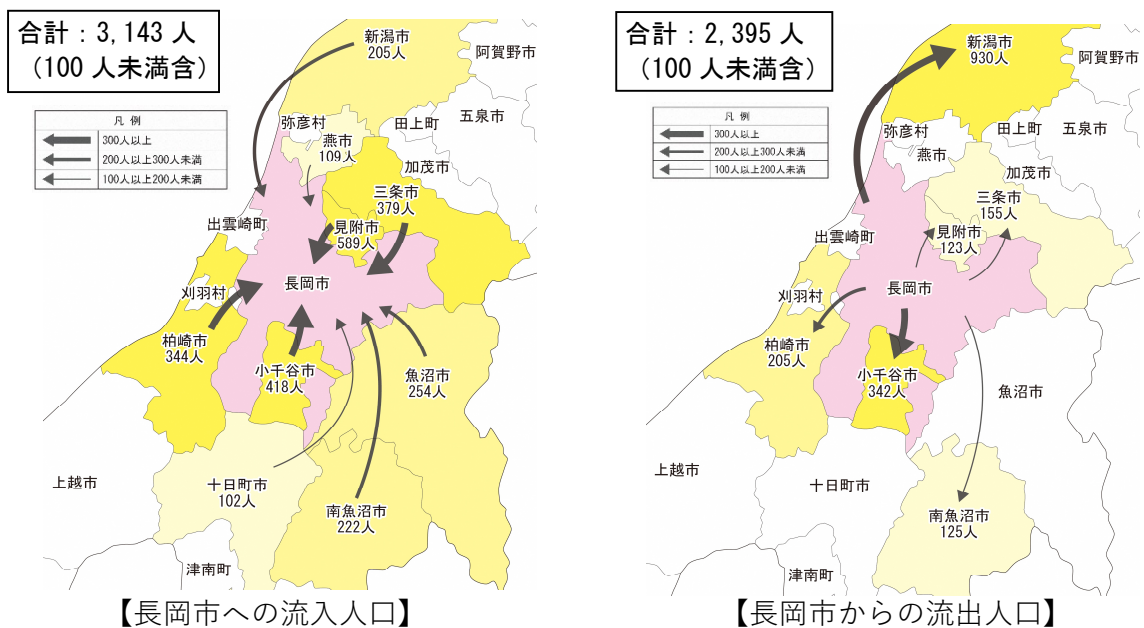


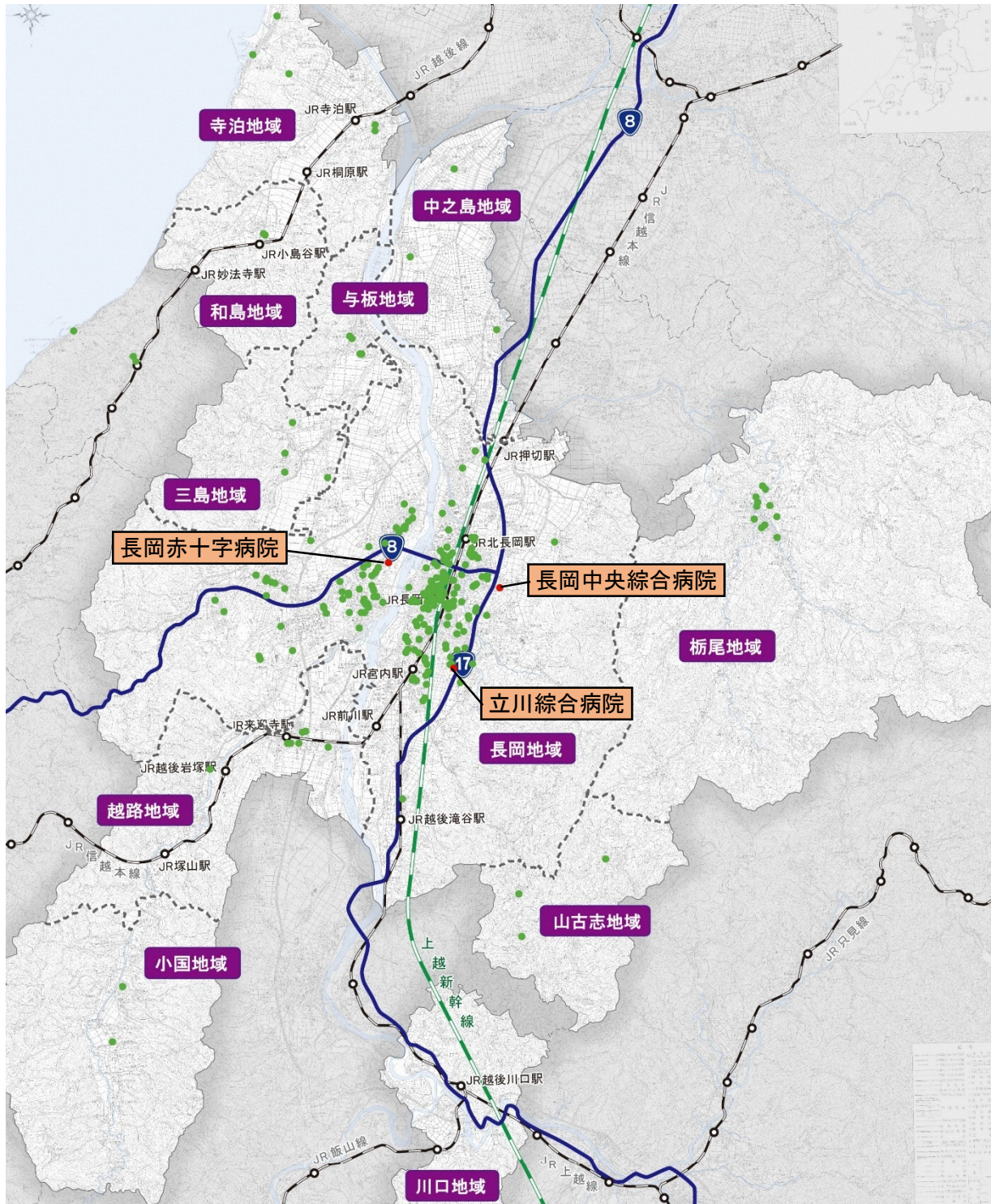
図 通学者の移動

資料：R2 国勢調査

5. 主要施設の分布

(1) 医療施設

医療施設は各地域にもありますが、長岡地域に集中しています。また、主要な病院である「長岡赤十字病院」「立川綜合病院」「長岡中央綜合病院」はいずれも長岡地域にあります。

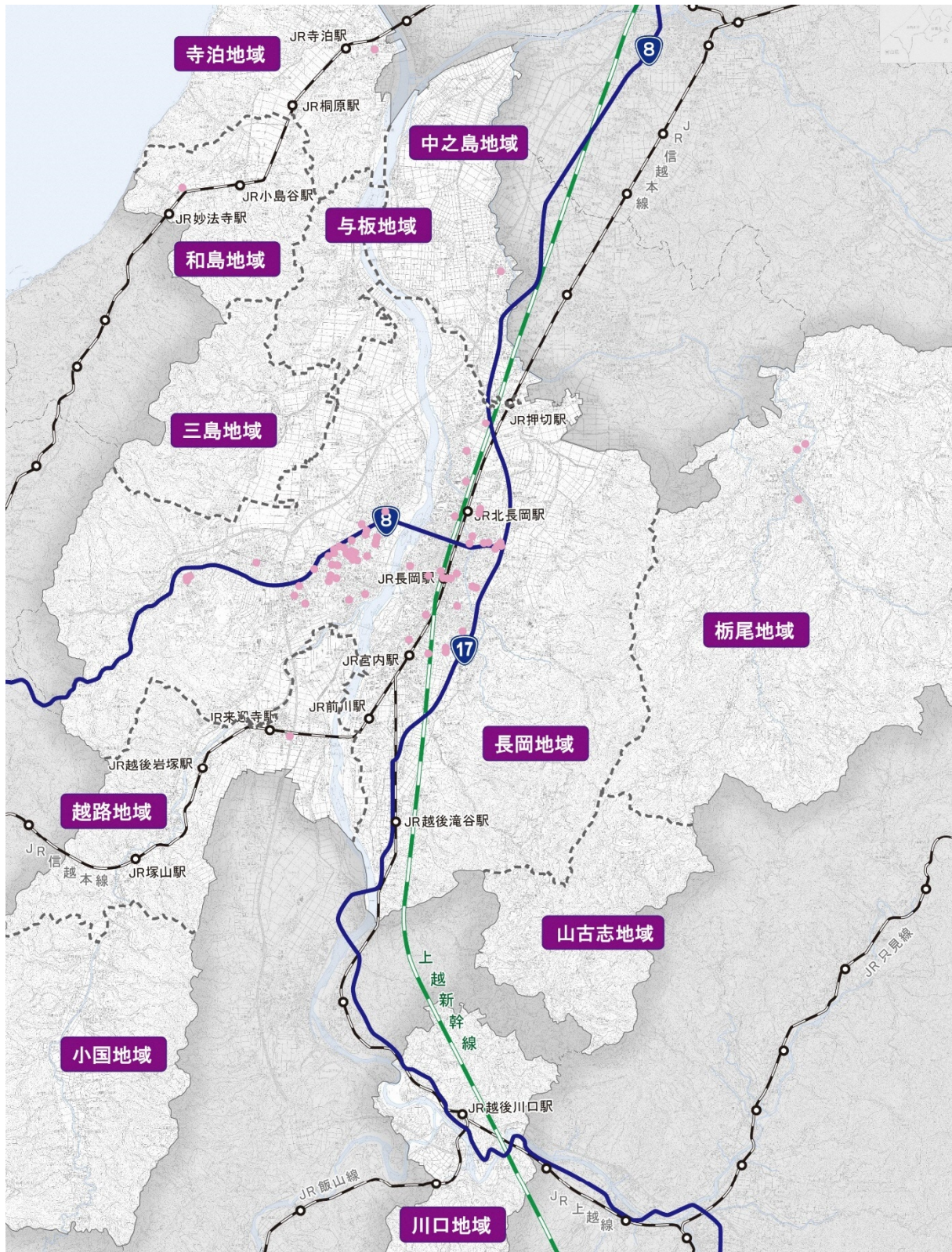


資料：長岡市医師会・歯科医師会（R3.9 現在）

図 施設分布（医療施設）

(2) 買い物施設

1,000 m²以上の大規模小売店舗は長岡地域に多く集積しています。

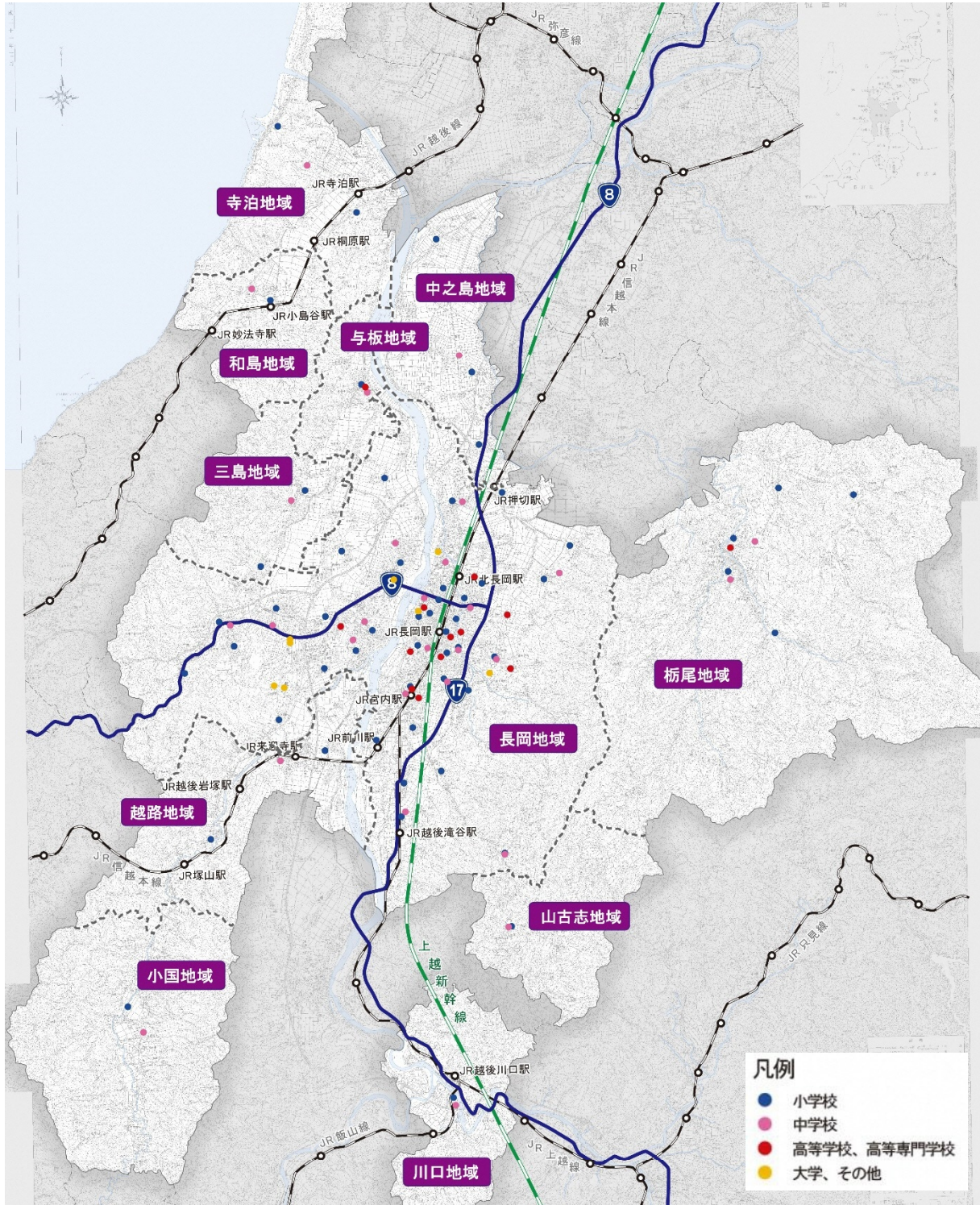


資料：新潟県大規模小売店舗（1,000 m²以上）一覧（R2.9 現在）

図 施設分布（買い物施設）

(3) 学校施設

各地域に小学校・中学校があります。高等学校以上の教育機関について、多くは「長岡地域」に集積しているほかは「栃尾地域」と「与板地域」のみです。そのため、市内の高校等の生徒は、「長岡地域」「栃尾地域」「与板地域」への通学となります。



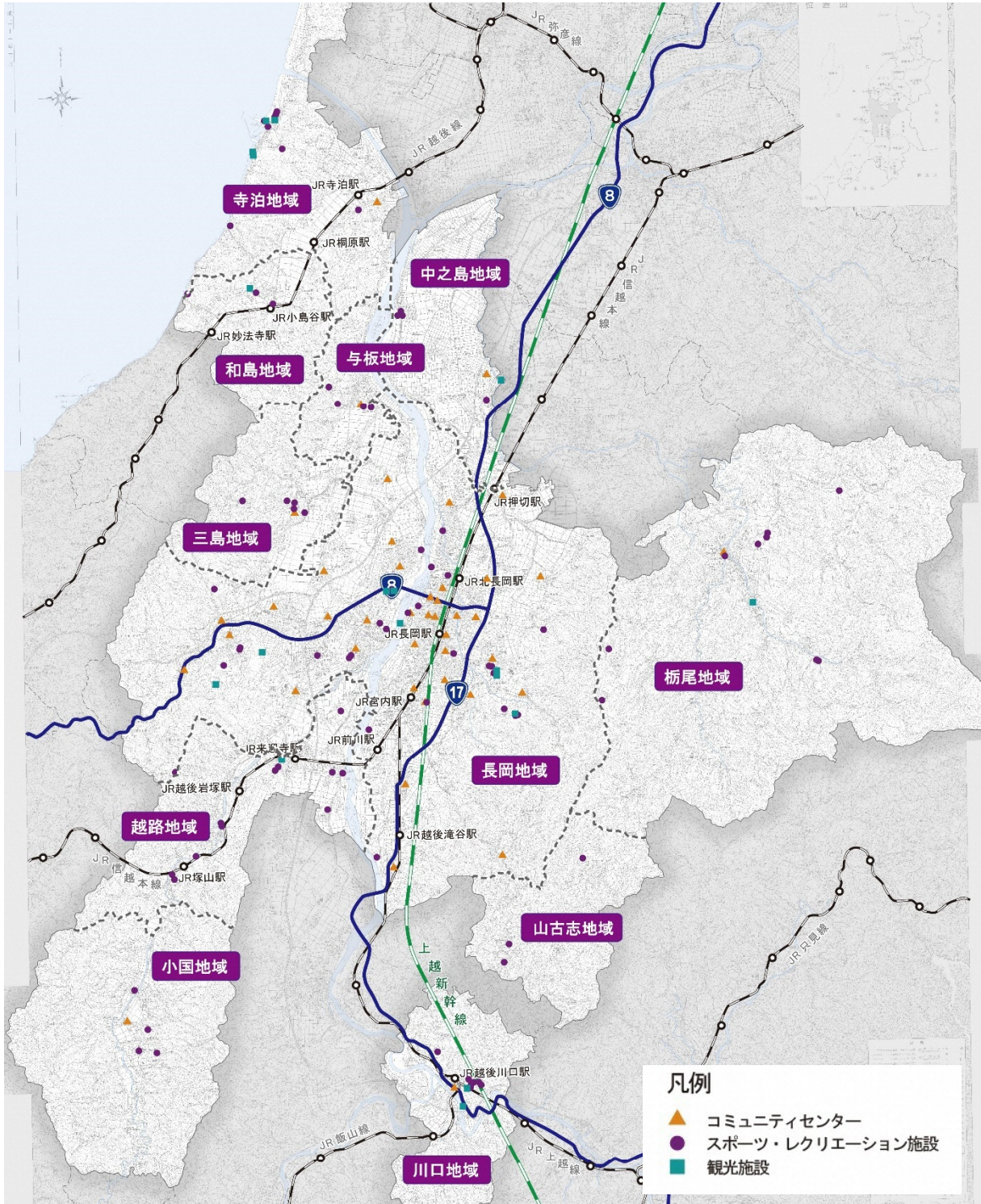
資料 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校：新潟県立教育センターHP
 大学、高専：新潟県 HP（新潟県内の高等教育機関）

(R3.4 現在)

図 施設分布（学校施設）

(4) その他主な施設（コミュニティセンター、スポーツレクリエーション施設、観光施設）

コミュニティセンターは、長岡地域に多く配置されており、スポーツレクリエーション施設は、各地域に配置されています。また、観光施設は、主に長岡地域、寺泊地域に分散しています。



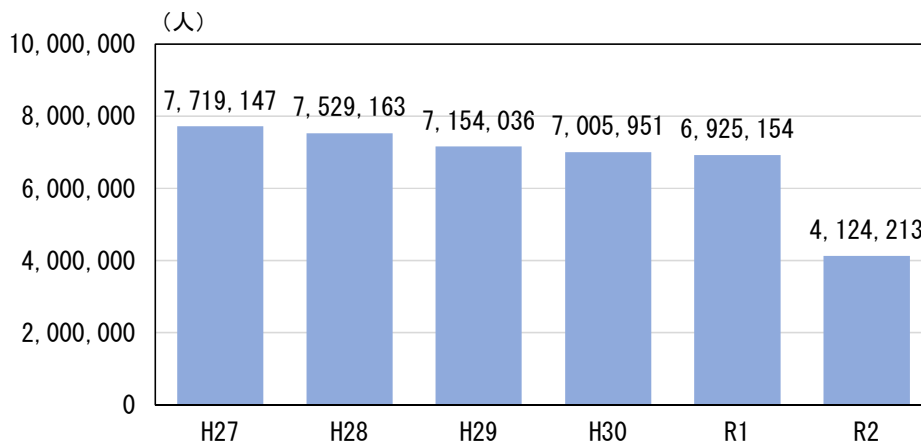
資料 スポーツ・レクリエーション施設、コミュニティセンター：長岡市 HP（R3.9 現在）

観光施設：新潟県観光入込客数（R1）

図 施設分布（スポーツ・レクリエーション施設、コミュニティセンター、観光施設）

6. 観光客

長岡市の観光入込客数は、年々減少傾向にあります。観光入込客数が多い主な施設・イベント等では、「寺泊魚の市場通り」、「長岡まつり」、「国営越後丘陵公園」、「道の駅 R290 とちお」等であり、長岡地域や寺泊地域をはじめ、市内に広く分散しています。また、令和2年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で観光入込客数が大幅に減少しています。



資料：新潟県観光入込客統計

図 観光入込客数の推移

表 主な施設・イベント等の観光入込客数の推移

| | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 県立近代美術館 | 67,212 | 330,702 | 71,517 | 71,896 | 77,840 | — |
| ハイブ長岡 (産業展示,雪しか祭り含) | 125,456 | 129,775 | 135,505 | 101,461 | 107,440 | — |
| 県立歴史博物館 | 43,037 | 51,166 | 54,094 | 64,108 | 50,752 | — |
| もみじ園 (越路もみじまつり含) | 62,980 | 64,010 | 69,445 | 92,470 | 97,417 | 91,071 |
| 水族博物館 | 115,520 | 111,380 | 114,640 | 107,320 | 114,550 | 81,090 |
| ぎんばちの湯 (日帰り入浴) | 151,220 | 142,940 | 124,980 | 121,100 | 127,170 | 72,570 |
| えちご川口温泉 | 134,154 | 132,293 | 130,566 | 112,429 | 114,735 | 72,883 |
| 国営越後丘陵公園 | 564,121 | 497,002 | 492,721 | 476,150 | 459,307 | 320,857 |
| 悠久山公園 (桜まつり含) | 197,830 | 188,880 | 189,830 | 166,130 | 193,410 | — |
| 道の駅良寛の里わしま | 286,420 | 321,600 | 314,639 | 300,590 | 292,260 | 258,680 |
| 寺泊魚の市場通り | 1,884,500 | 1,770,500 | 1,734,050 | 1,669,900 | 1,672,800 | 1,067,300 |
| 道の駅R290とちお | 487,900 | 461,600 | 474,100 | 434,100 | 451,500 | 368,500 |
| あぐりの里 | 157,179 | 155,599 | 141,590 | 132,456 | 125,737 | 95,743 |
| 道の駅ながおか花火館 | — | — | — | — | — | 605,952 |
| 長岡まつり (花火大会含) | 1,206,000 | 1,077,000 | 1,191,000 | 1,203,000 | 1,244,000 | — |
| 米百俵まつり | 95,000 | 75,000 | 83,000 | 85,000 | 78,000 | — |
| 見附市今町・長岡市中之島大凧合戦 | 49,000 | 50,000 | 49,000 | 54,000 | 54,000 | — |
| 寺泊港まつり | 102,000 | 92,000 | 86,000 | 86,100 | 73,000 | — |

資料：新潟県観光入込客統計

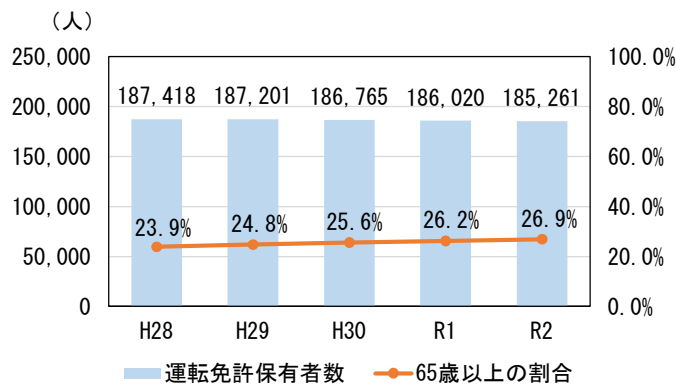
7. 交通事故

人口の減少等の影響もあり、長岡市における免許保有者数は減少していますが、人口減少と反比例し、運転免許を取得している高齢者の割合は増加しています。

また、長岡市における交通事故は減少し、高齢者が関連する交通事故も減少していますが、交通事故全体に占める高齢者事故の割合は増加しています。

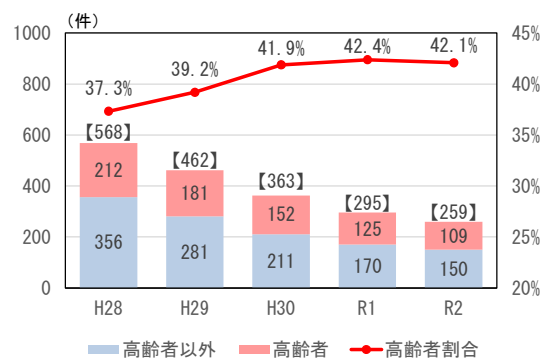
運転免許の返納者数も令和元年から令和2年に減少していますが、平成28年度から全体的には増加傾向にあります。交通事故を更に減少させるためにも、公共交通への転換を促すことも必要です。

長岡市では、免許返納者の公共交通への転換のきっかけづくりとして「高齢者等運転免許自主返納支援事業」を進めています。令和2年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、運転免許の返納を控える人が増えたことで支援事業への申請者数も減少しましたが、平成28年度から全体的には増加傾向にあります。



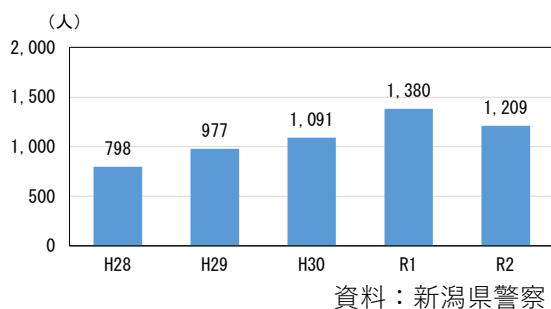
資料：長岡市

図 運転免許保有者数と高齢化率の推移



資料：長岡市

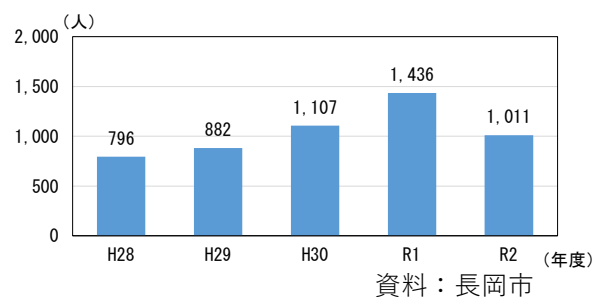
図 交通事故の推移



資料：新潟県警察

図 運転免許返納者数の推移

※各年12月末現在の数値



資料：長岡市

図 高齢者等運転免許自主返納支援事業の申請者

8. 交通量

(1) 自動車交通量の推移

自動車交通量は全体的に平成17年から減少傾向にあります。平成27年では国道17号東バイパスで約35千台/日～38千台/日の交通量が流れています。

信濃川を渡る橋梁では、「長岡大橋」が最も多く約37千台/日、次いで「大手大橋」の22千台/日となっています。平成25年にフェニックス大橋が開通したことにより、平成27年における「長生橋」や「大手大橋」の交通量は減少しており、交通量が分散化したと考えられます。一方、「蔵王橋」と「長岡大橋」は増加に転じています。

長岡市は、信濃川で市街地が東西に分断されていることもあり、南北を結んでいる交通量（東バイパスの交通量）より、東西を結ぶ交通量（橋梁の交通量）の減少量は少ないです。このことから、東西を結ぶ（信濃川を渡る）公共交通、移動手段の確保の必要性は高いです。

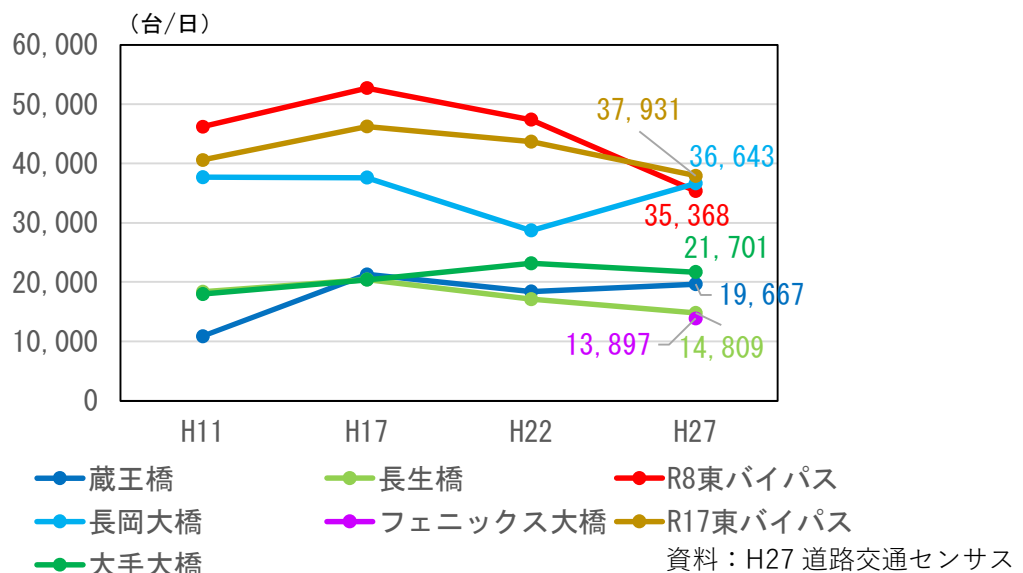
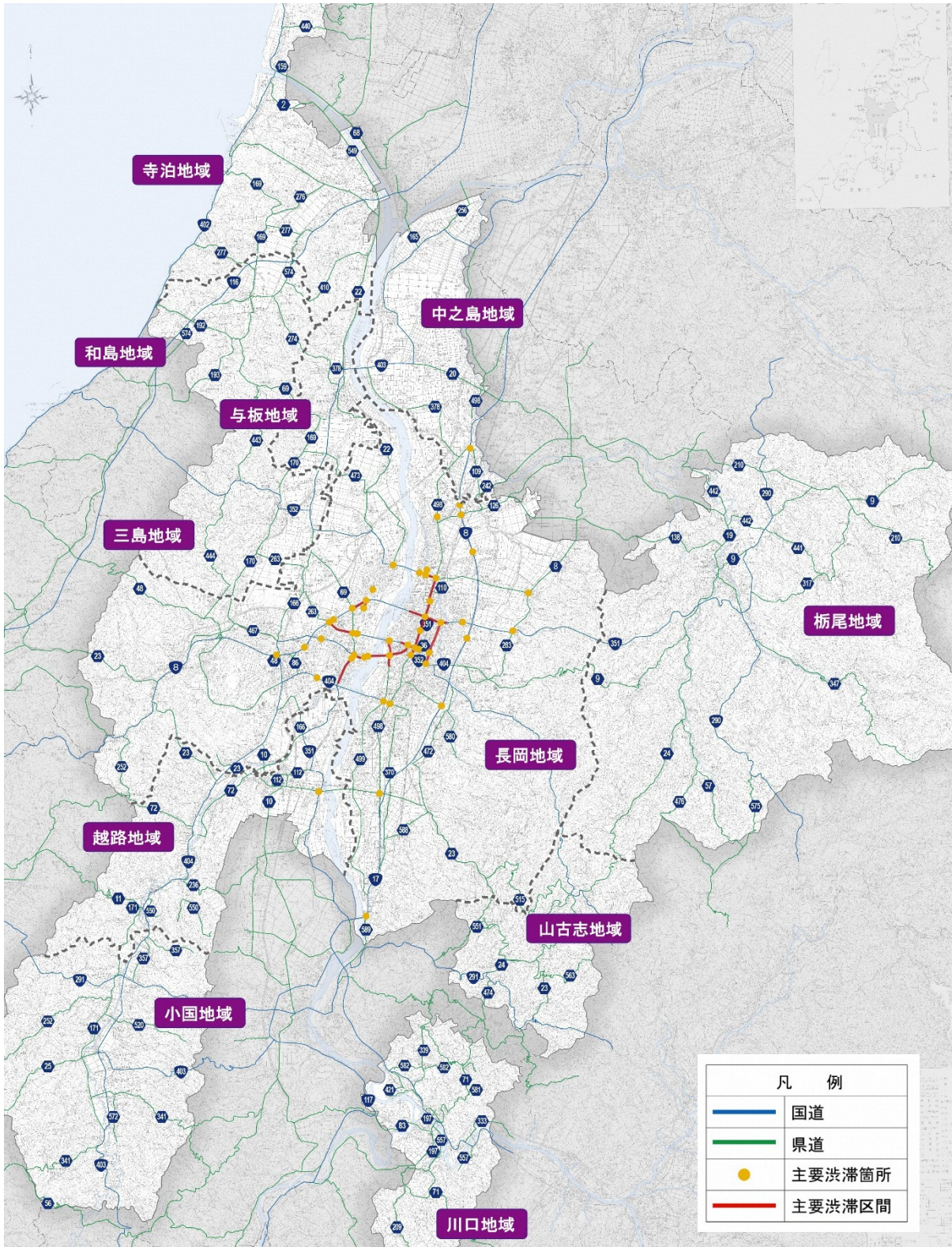


図 主な調査地点の交通量の推移

(2) 道路の渋滞状況

長岡地域の中心部で信濃川を挟み両側で主要渋滞箇所・主要渋滞区間があります。これらの地点では、路線バスが運行されております。



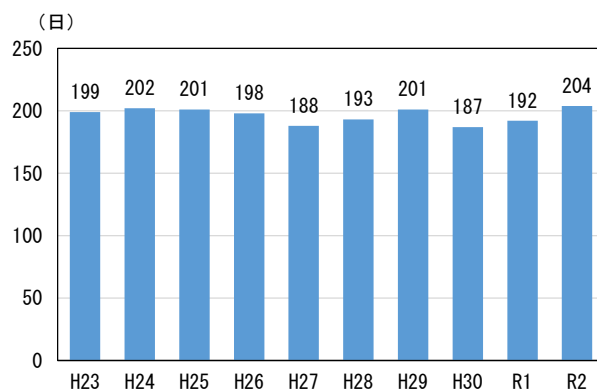
資料：新潟県渋滞対策協議会（R3.3時点）

図 道路の渋滞状況

9. 気象

(1) 降雨

長岡市では、年間およそ 200 日の降雨日があります。公共交通利用者の待合環境を改善する上屋整備の効果や、通常時は徒歩・自転車等で外出する方々が雨天時に公共交通へ転換することによる利用者数の増加に留意する必要があります。



資料：気象庁

図 降雨日数の推移（日降水量 1mm 以上）

(2) 降雪

長岡市では、年間の降雪日数が減少傾向ですが、一時的に積雪量が多くなる時期もあります。そのため、降雪量が多い場合の公共交通の運行の確保や運行情報の提供など、降雪時における対応が必要です。

また、地域によって降雪量に大きな差があり、各地域で公共交通の利用環境が異なると考えられるため、各地域住民が対象となるよう調査を行う必要があります。

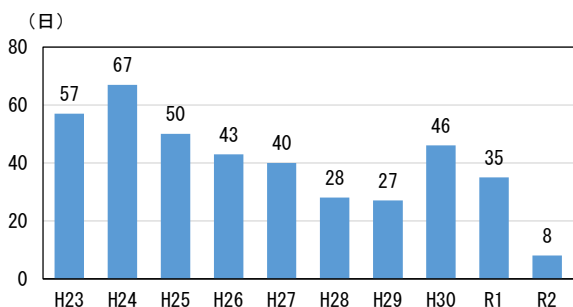


図 降雪日数（長岡観測所）

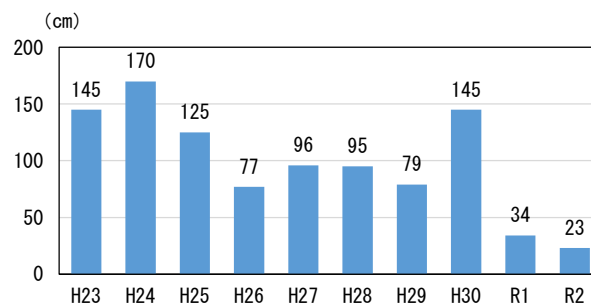


図 最深積雪（長岡観測所）

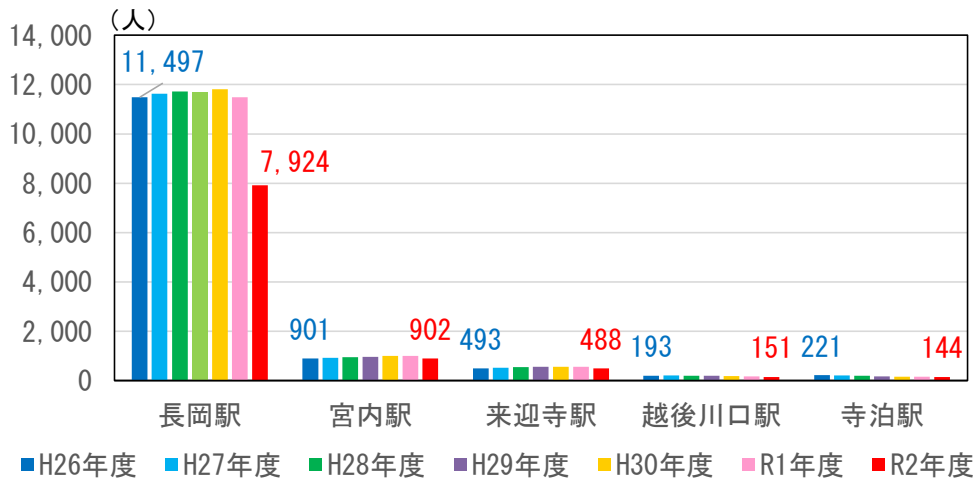
資料：気象庁（寒候年（前年 8/1 から当年 7/31））

長岡市の現況整理（公共交通）

1. 鉄道

(1) 利用者数（乗車人員）

長岡市内に鉄道（JR）の旅客駅は14駅あり、有人駅は5駅です。1日当たりの乗車人員は平成26年と比較すると新型コロナウイルスの影響もあり減少傾向です。もっとも乗車人員が多い長岡駅でも7.9千人/日です。



資料：JR 東日本

図 1日当たりの乗車人員

(2) 運行便数

鉄道の運行便数は、上越新幹線は新潟方面、東京方面とも25便/日の運行です。在来線は、長岡駅から新潟方面の運行が65便/日（特急しらゆき含む）ですが、柏崎方面は49便/日、上越線は34便/日、また越後線は約20便/日です。平成29年と比較しても大きな変化はありません。

表 鉄道の運行便数

単位：便/日

| | 方面 | 区間 | 長岡駅 | | 宮内 | | 来迎寺 | | 越後川口 | | 寺泊 | | 小島谷 | |
|---------|------|-----------|-------------|------------|-------------|------------|-------------|------------|-------------|------------|-------------|------------|-------------|------------|
| | | | H29.4 便数 | R3.6 便数 | H29.4 便数 | R3.6 便数 | H29.4 便数 | R3.6 便数 | H29.4 便数 | R3.6 便数 | H29.4 便数 | R3.6 便数 | H29.4 便数 | R3.6 便数 |
| JR上越新幹線 | 新潟方面 | | 26 | 25 | | | | | | | | | | |
| | 東京方面 | | 26 | 25 | | | | | | | | | | |
| JR信越本線 | 新潟方面 | 長岡⇔新潟方面 | 54 | 55 | | | | | | | | | | |
| | | 特急しらゆき | 10 | 10 | | | | | | | | | | |
| | 柏崎方面 | 長岡⇔柏崎方面 | 38 | 39 | 36 | 37 | 37 | 38 | | | | | | |
| | | 特急しらゆき | 10 | 10 | | | | | | | | | | |
| JR上越線 | | 長岡⇔越後湯沢方面 | 29 | 30 | 29 | 30 | | | 29 | 30 | | | | |
| | | 長岡⇔十日町方面 | 4 | 4 | 4 | 4 | | | 4 | 4 | | | | |
| JR越後線 | | | | | | | | | | | 22 | 22 | 20 | 20 |

資料：JR 時刻表

2. 路線バス等乗合交通

(1) 全体

1) 公共交通網

長岡市では、路線バスの他、地域生活交通が「山古志」「小国」「和島」「寺泊」「栃尾」「川口」の6つの支所地域で運行されています（寺泊は令和3年10月～実証運行）。

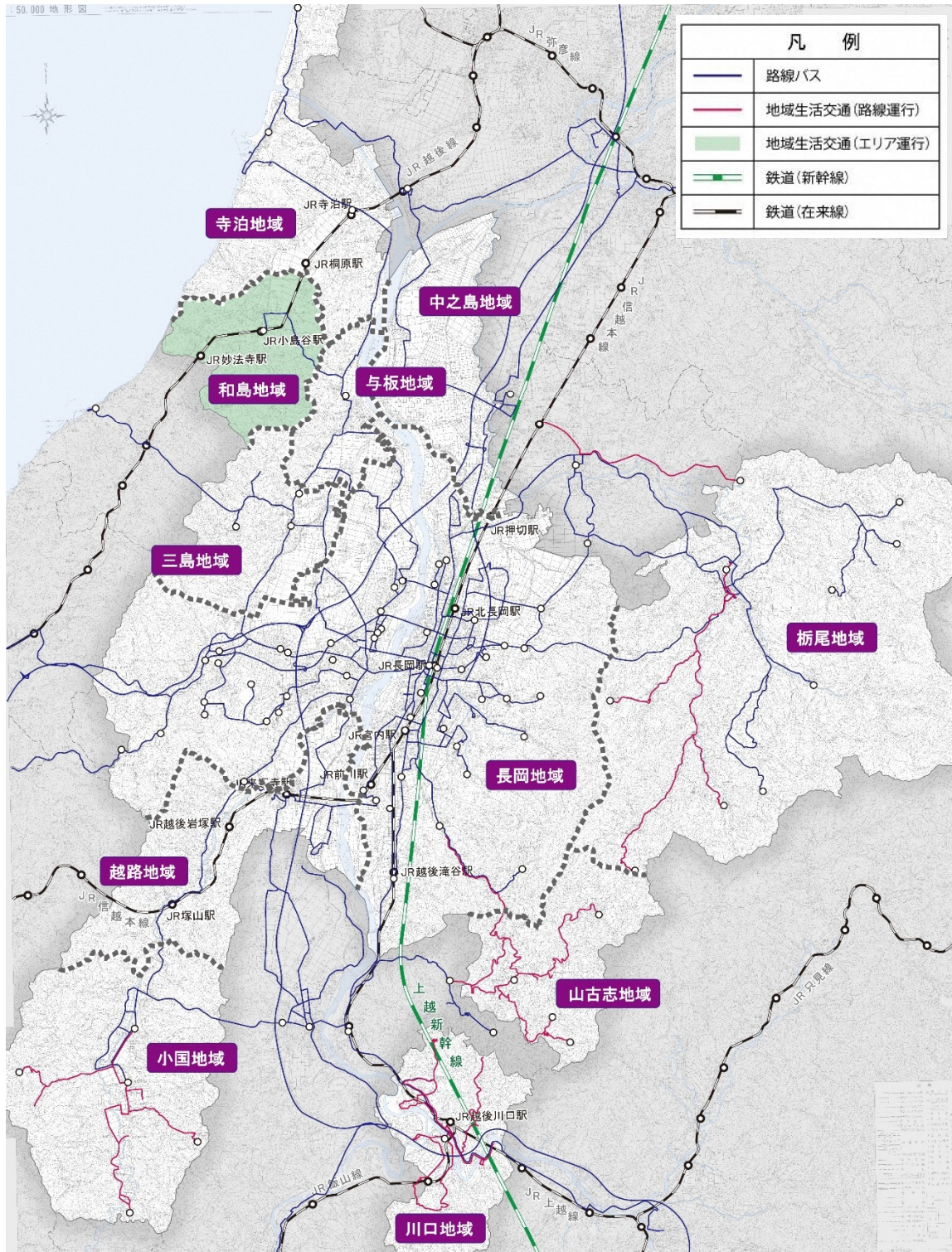
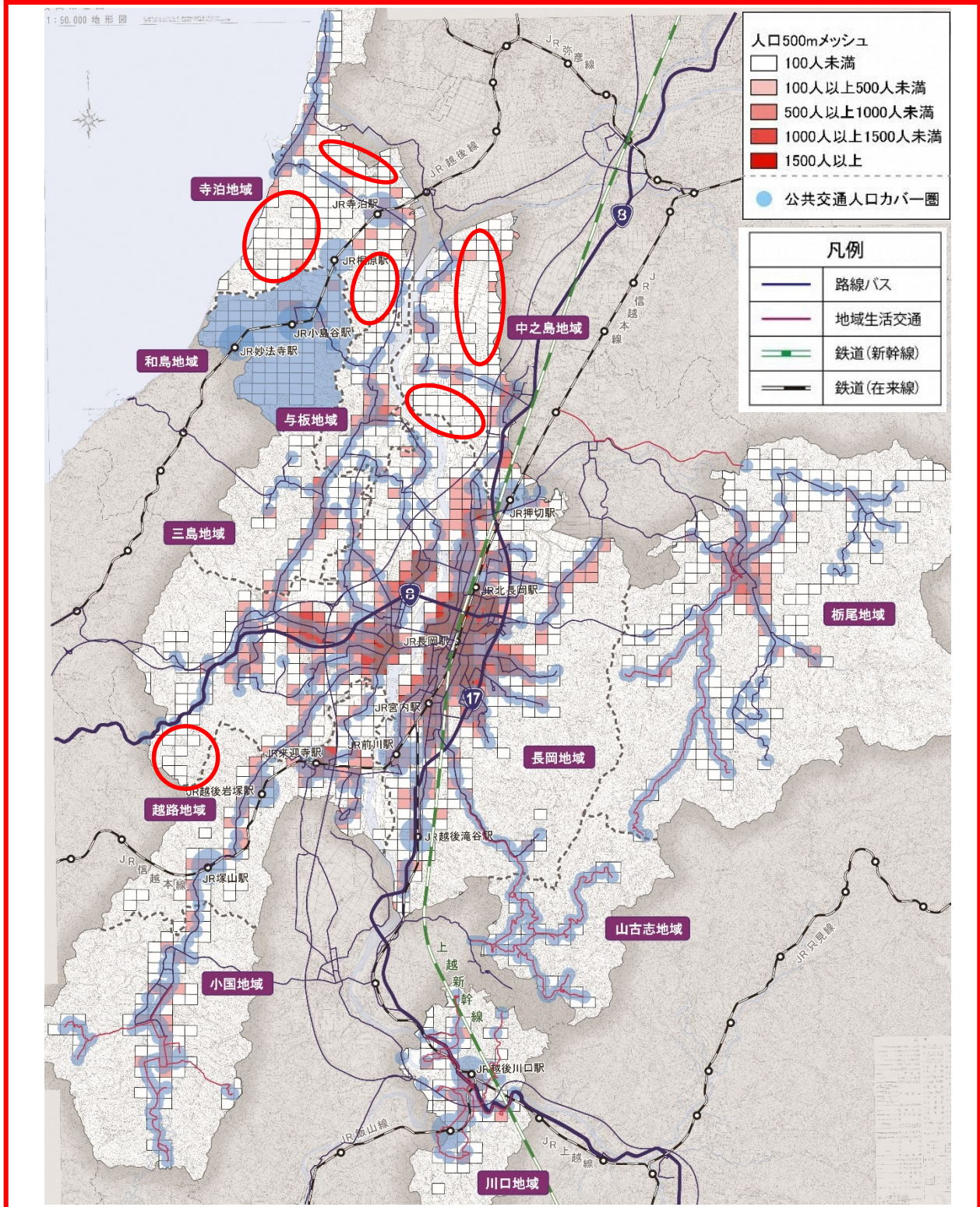


図 公共交通網 (R3.4 現在)

2) 公共交通空白地

「和島」地域で地域生活交通がエリア運行を開始したため、公共交通がカバーできていない公共交通空白地は、「寺泊」、「中之島」地域や、長岡地域の一部にまとまって見られます（寺泊は令和3年10月～実証運行）。

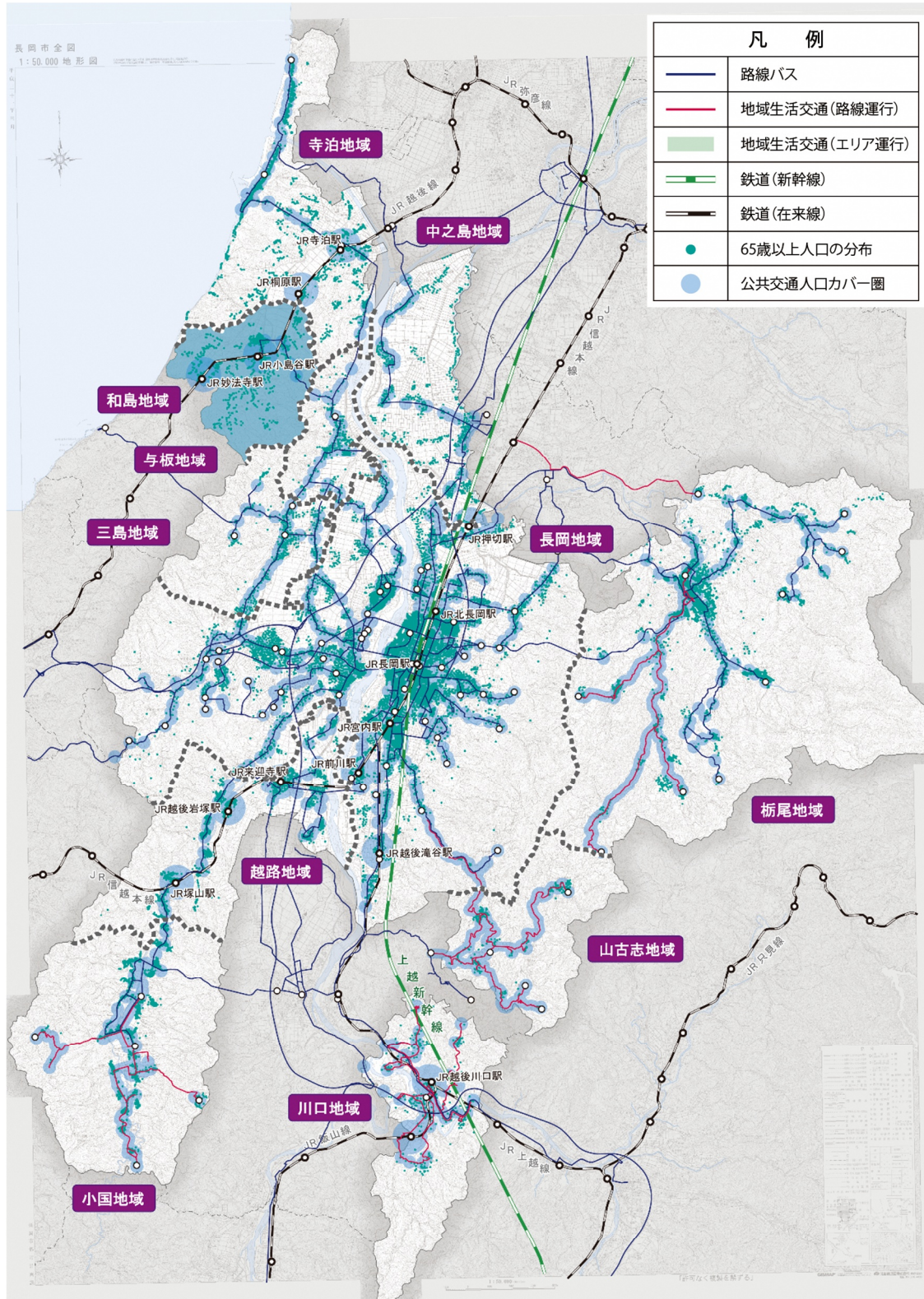


資料：R2 国勢調査、公共交通ルート図（R3.4 現在）

図 公共交通空白地の分布状況

3) 65歳以上人口の分布から見る公共交通空白地

前頁で示した公共交通空白地には、65歳以上の高齢者も多く住んでいます。



資料：住民基本台帳（R3.4 現在）、公共交通ルート図（R3.4 現在）

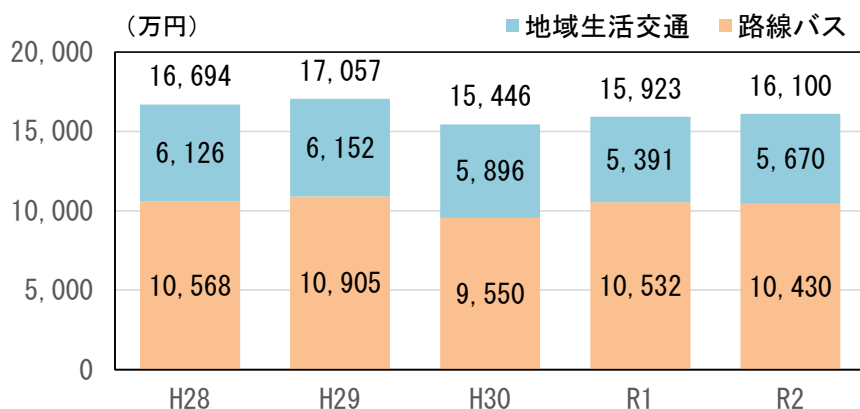
図 65歳以上の人口分布と公共交通網（R3.4 現在）

4) 補助金（長岡市）

運賃収入を補填するため、一部路線に運行補助金を充当しています。路線バスの利用者は年々減少していますが、運行効率化を図りながら、長岡市が負担する補助金は、ほぼ横ばいの約1億円です。

また、地域生活交通についても同様に運行補助金を充当しています。運行の効率化等の見直しにより、補助金も減少傾向ですが、令和2年度は必要な便数の増便等を行い、令和元年度と比較し増加しました。

長岡市の補助金は、令和2年度では路線バス、地域生活交通で約1.6億円を充当しています。



資料：長岡市

図 長岡市補助金の推移

※地域生活交通の補助金は、「山古志」「小国」「川口」の運行の合計であり、「和島」「栃尾」の実証運行の経費を除く

(2) 路線バス

1) 利用者数

路線バスの利用者は年々減少しており、令和元年度では一般乗合バスでは 489 万人の利用となっており、平成 23 年度と比較すると約 120 万人減少しています。また、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、令和 2 年度は大きく減少しています。なお、以下データは越後交通本社、東長岡営業所分のみのデータ（統計年鑑参照）です。

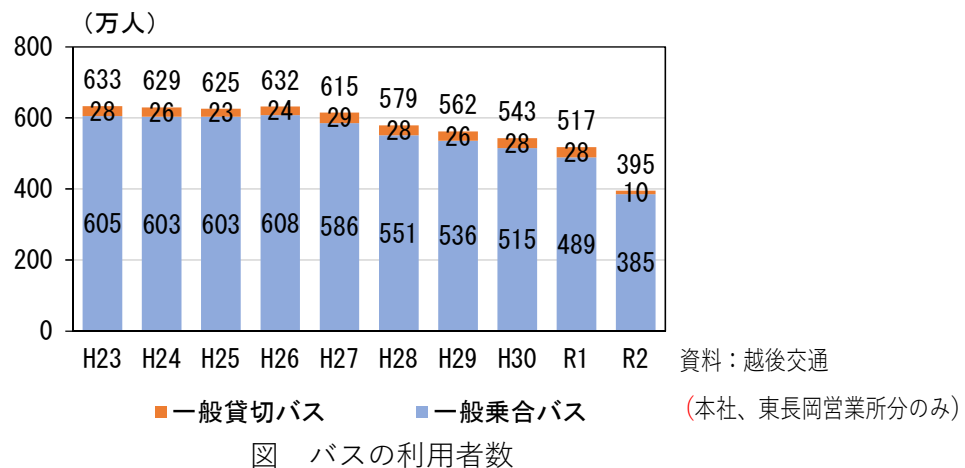


図 バスの利用者数

2) 運行便数

路線バスの運行便数は、利用者数の減少の影響や、栃尾地域での地域生活交通への切り替えもあり、平成 29 年と比較すると平日で約 210 便、休日で 130 便の減少となっており、路線バスの運行の維持が難しくなっています。

表 路線バスの運行便数

| | H29 | | R3 | | | H29 | | R3 | | |
|------------------|----------------------|-----|----|-----|----|-------------------|------|------|------|-----|
| | 平日 | 休日 | 平日 | 休日 | | 平日 | 休日 | 平日 | 休日 | |
| 長岡駅前 大口 発着 | 長岡駅前＝十日町線 | 39 | 27 | 29 | 23 | 長岡駅東口＝成願寺線 | 15 | 10 | 13 | 10 |
| | 長岡駅前＝小千谷車庫前線 | 17 | 14 | 17 | 14 | 長岡駅東口＝悠久山線 | 103 | 95 | 102 | 94 |
| | 〈急行〉長岡駅前＝小千谷車庫前線 | 31 | 26 | 31 | 26 | 長岡駅東口＝柿線 | 30 | 24 | 28 | 24 |
| | 法務局前＝道の駅ながおか花火館線 | 103 | 83 | 100 | 78 | 長岡駅東口＝立川綜合病院 | 58 | 33 | 47 | 29 |
| | 長岡駅前＝江陽団地 環状線 | 33 | 27 | 30 | 24 | 宮内環状線 | 16 | 6 | 10 | 4 |
| | 長岡駅前＝蓮花寺・出雲崎線 | 27 | 20 | 25 | 17 | 宮内川崎環状線 | 4 | 0 | | |
| | 長岡駅前＝与板線 | 12 | 9 | 12 | 9 | 宮内駅角＝長岡駅東口 | 2 | 0 | | |
| | 長岡駅前＝来迎寺線 | 6 | 2 | 6 | 2 | 川崎環状線 | | | 4 | 0 |
| | 長岡駅前＝小国線 | 21 | 12 | 18 | 12 | 長岡駅東口＝長岡中央綜合病院 | 66 | 37 | 64 | 36 |
| | 長岡駅前＝柏崎駅前線 | 33 | 28 | 28 | 24 | 長岡駅東口＝上見附線 [川崎経由] | 40 | 23 | 46 | 26 |
| | 長岡駅前＝田代線 | 82 | 54 | 78 | 52 | 特急〈快速〉長岡駅東口＝栃尾線 | 36 | 22 | 31 | 18 |
| | 長岡駅前＝与板線 | 23 | 16 | 23 | 16 | 長岡駅東口＝上見附線 [新町経由] | 29 | 23 | 28 | 23 |
| | 長岡駅前＝越後丘陵公園線 | 31 | 23 | 31 | 24 | 長岡駅東口＝福島・稲保線 | 9 | 3 | 11 | 4 |
| | 長岡駅前＝ニュータウン・県立歴史博物館線 | 58 | 50 | 46 | 40 | 長岡駅東口＝栖吉線 | 22 | 15 | 18 | 14 |
| | 中央環状線 (内回り・長岡大橋先回り) | 24 | 24 | 11 | 11 | 長岡駅東口＝滝谷線 | 18 | 13 | 18 | 15 |
| | 中央環状線 (外回り・長生橋先回り) | 25 | 25 | 10 | 10 | 長岡駅東口＝高龍神社 (蓬平) 線 | 20 | 15 | 12 | 10 |
| | 長岡駅前＝宮内本町線 | 8 | 7 | 9 | 7 | 長岡駅東口＝宮内線 | 55 | 39 | 49 | 34 |
| | 長岡駅前＝免許センター線 | 10 | 0 | 3 | 0 | 栃尾＝榎谷・入塩川・梅之俣線 | 14 | 10 | 14 | 10 |
| | 長岡駅前＝東三条駅前 | 40 | 25 | 34 | 21 | 栃尾＝栃堀・栗山沢線 | 16 | 12 | 16 | 14 |
| | 〈急行〉長岡駅前＝栃尾線 | 33 | 24 | 30 | 22 | 上見附車庫＝下塩線 | 10 | 4 | | |
| | 長岡駅前＝分水駅前線 | 16 | 12 | 12 | 8 | 栃尾＝半蔵金・新山・軽井沢線 | 6 | 4 | | |
| | 長岡駅前＝小島谷駅前線・寺泊線 | 39 | 28 | 38 | 26 | 栃尾＝見附＝浦瀬＝長岡駅東口線 | 48 | 27 | | |
| | 長岡駅前＝エコトピア寿線 | 15 | 10 | 13 | 10 | 合計 | 1391 | 1002 | 1179 | 872 |
| | 江陽環状線 | 18 | 17 | 18 | 17 | | | | | |
| | 長岡駅前＝宝町線 | 30 | 24 | 16 | 14 | | | | | |

資料：越後交通

路線バスは、JR 長岡駅を中心とした長岡地域の市街地において、特に多くの運行便数があります。

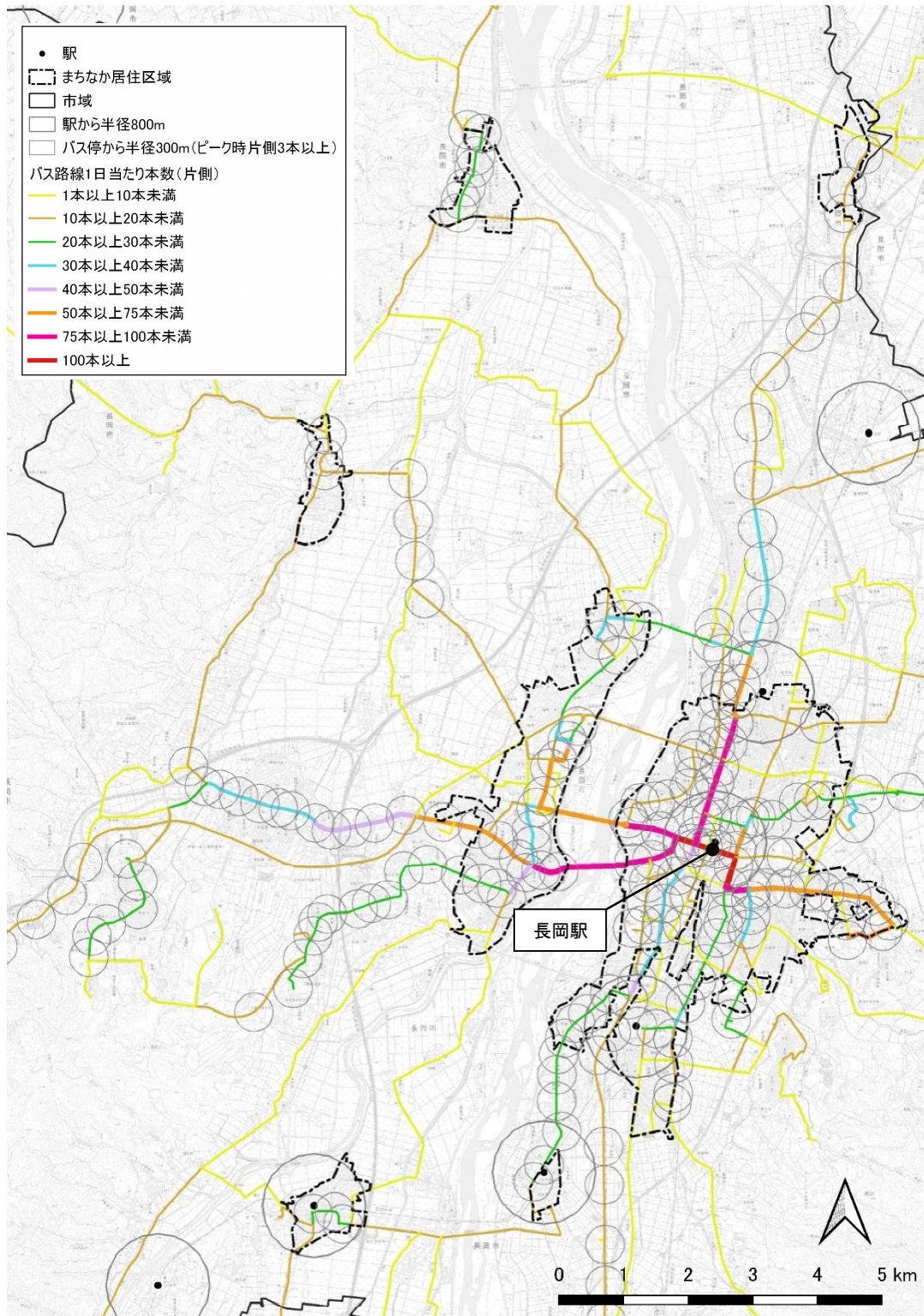


図 長岡都市計画区域におけるバスの運行本数 (R3)

3) 路線別輸送実績

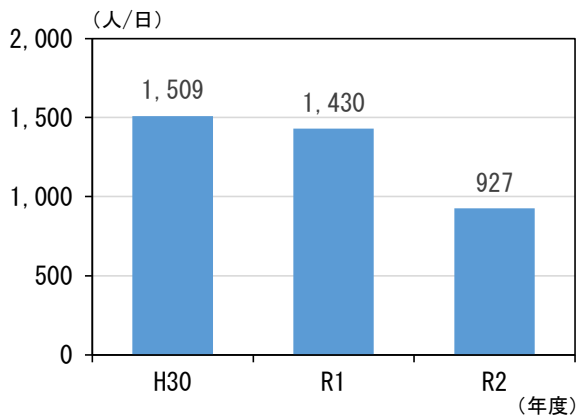
路線別の利用実績を分析したところ、学校関連の路線は利用者・運行目的が明確であることから、収支率が高くなっています。このことから、学生の移動需要は収支に大きく影響することがわかります。一方で、支所地域と市外を結んでいる路線などは収支率が低く、見直しを検討する必要性が高い路線があります。

収支率が高い路線・・・長岡駅 ⇄ 江陽団地
長岡駅 ⇄ 柏崎方面（田代）
長岡駅 ⇄ 越後丘陵公園
長岡駅 ⇄ 基幹病院（長岡中央総合病院、立川総合病院）
長岡駅 ⇄ 悠久山
学校関連便（向陵高校、商業高校線）

（令和元年度輸送実績を参照）

4) 県内高速バス

高速バスの県内路線バスの利用者数は減少傾向であり、特に令和2年度は新型コロナウイルスの影響等により、対前年度比30%超減少しています。県内高速バスは、通勤や通学などで利用する方がいることが想定され、生活交通の一部となっていると考えられます。



※年間14日調査の平均値

資料：越後交通

図 高速バス（新潟⇄長岡線）の利用者数

(3) 地域生活交通（コミュニティバス）

1) 山古志地域

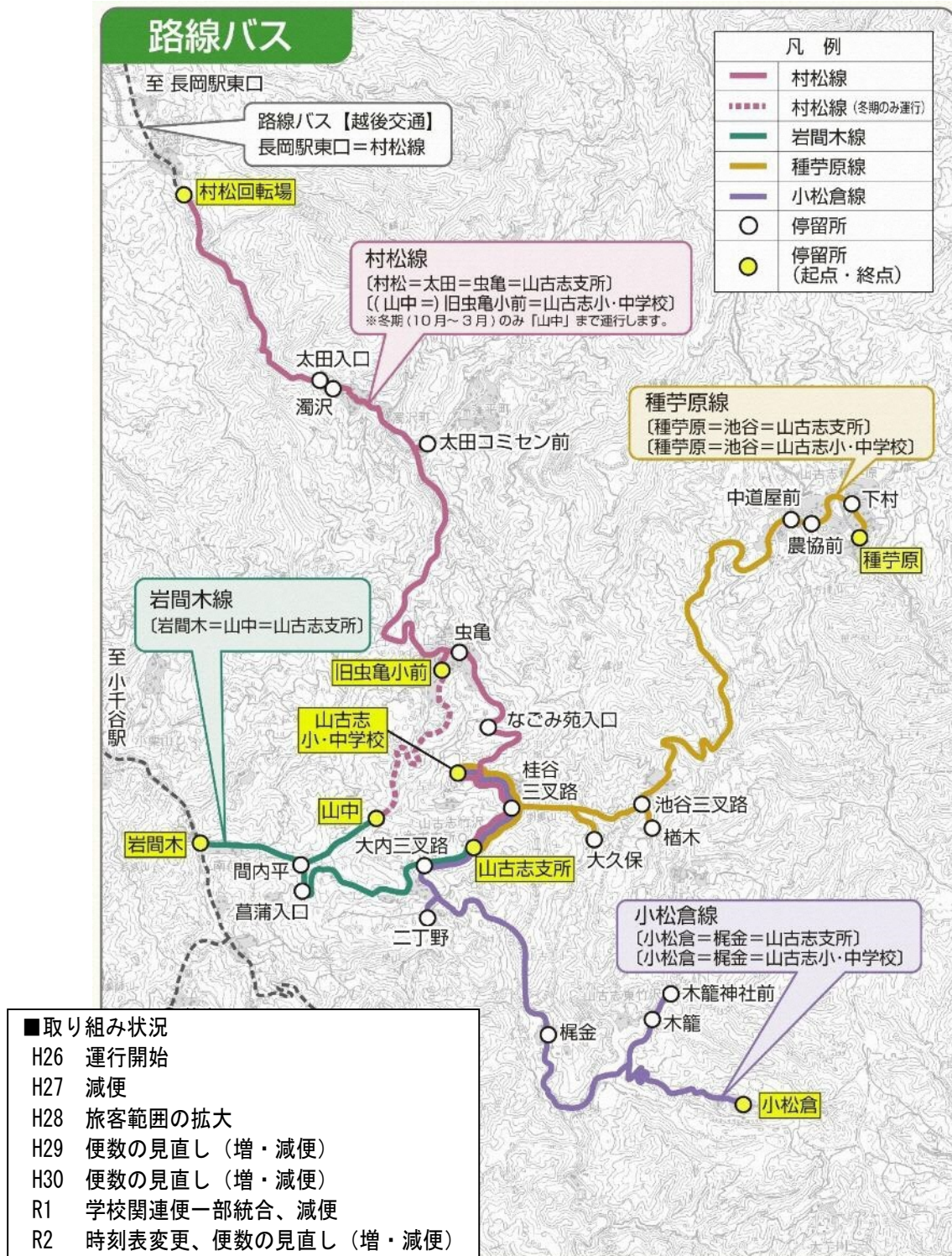
① 運行内容

運行主体：NPO 法人中越防災フロンティア

運行形態：コミュニティバス（クローバーバス）

運賃：大人 200 円、小学生 100 円、回数券、定期券

運休日：日祝、年末年始（12/29～1/3）、お盆（8/14～8/16）

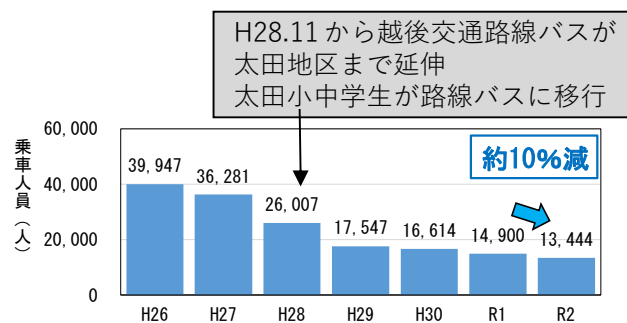


②利用状況

利用者は年々減少しており、令和元年度と比較して全路線計では約10%減となっています。路線別では、村松線が約28%減、岩間木線が約3%増、種苧原線が約2%減、小松倉線が約2%減となっています。

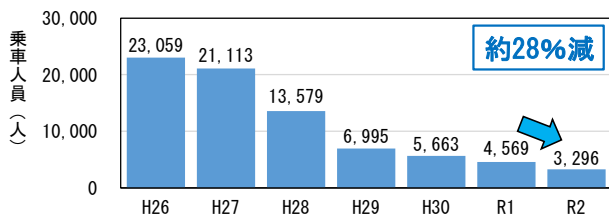
令和2年度の利用者減少の要因は、新型コロナウイルスの影響が考えられ、人口減少、特定の高齢者利用の減少、運転できる高齢者の増加、少子高齢化による小・中学生・高校生利用の減少などが考えられます。一方、岩間木線の増加の要因としては、利用する高校生が増加したためと考えられます。

■全路線計

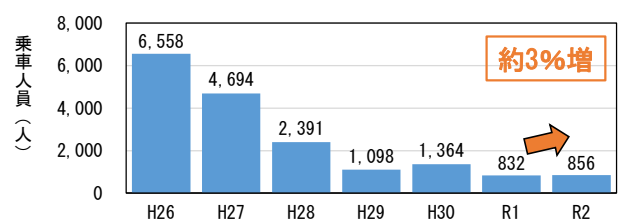


■各路線別

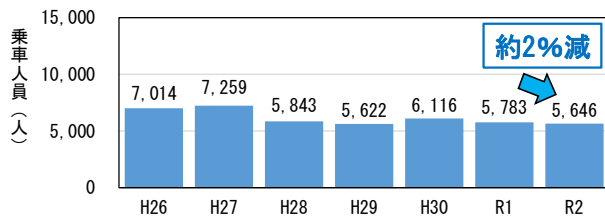
①村松線



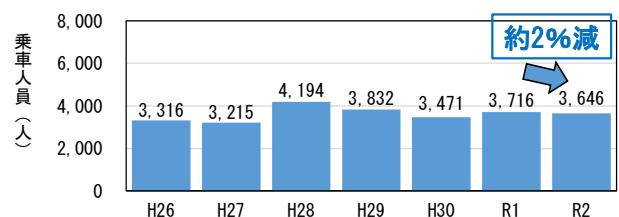
②岩間木線



③種苧原線



④小松倉線



資料：NPO 法人中越防災フロンティア

2) 小国地域

①運行内容

運行主体：NPO 法人 MTN サポート

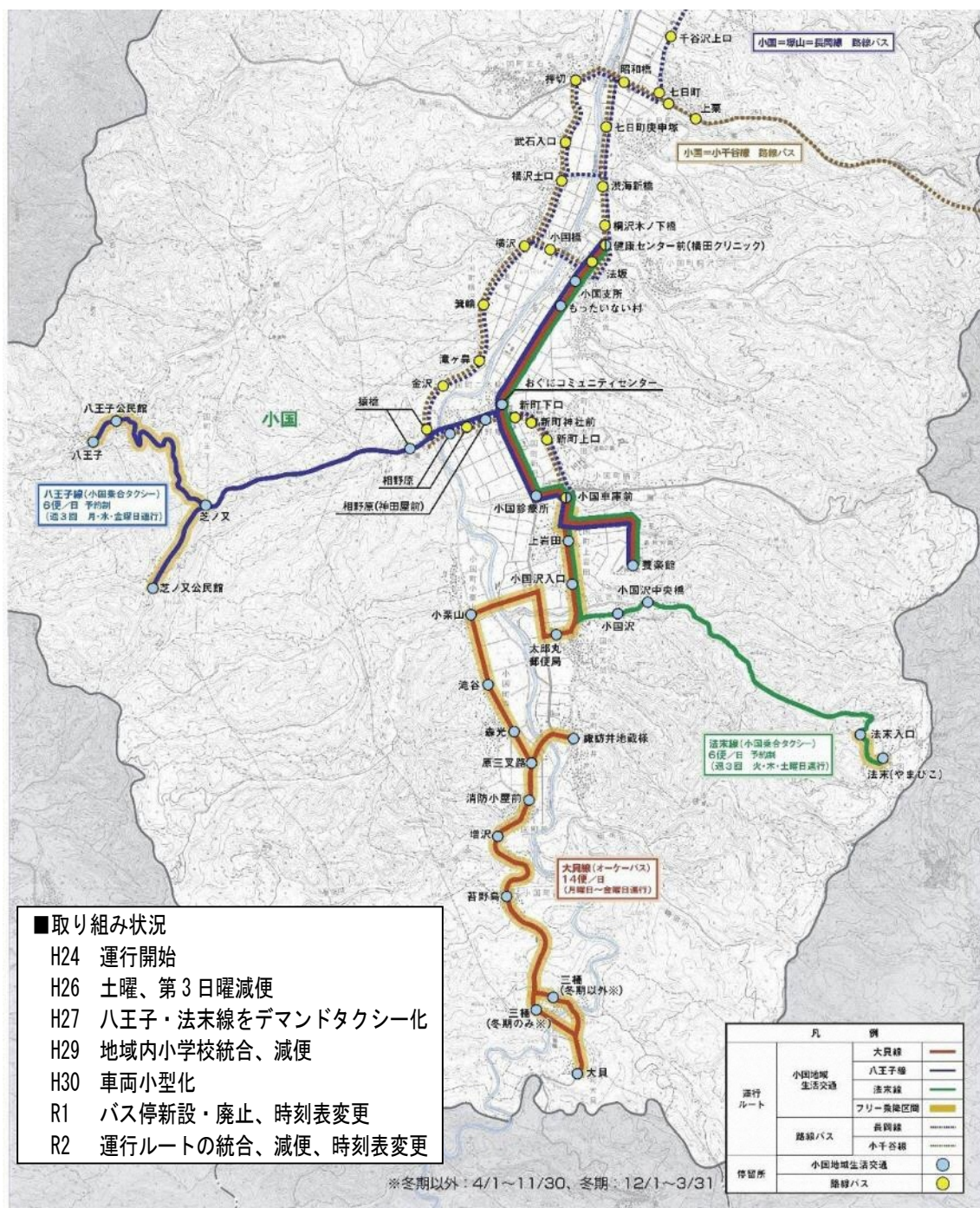
運行形態：【大貝線】コミュニティバス（オーケーバス）

【八王子線、法末線】乗合タクシー

運賃：大人 200 円、小学生 100 円、大貝線のみ回数券、定期券

運休日（大貝線）：土日祝日、お盆（8/14～15）年末年始（12/31～1/3）

運行日：八王子線 月・水・金、法末線 火・木・土

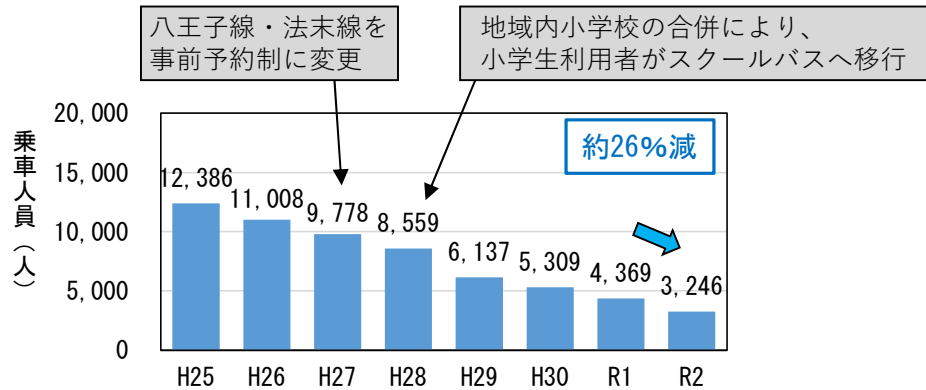


②利用状況

乗車人員は年々減少しており、令和2年度は令和元年度と比べて全路線計では約26%減となっています。路線別では大貝線が約25%減、八王子線が約30%減、法末線が約34%減となっています。

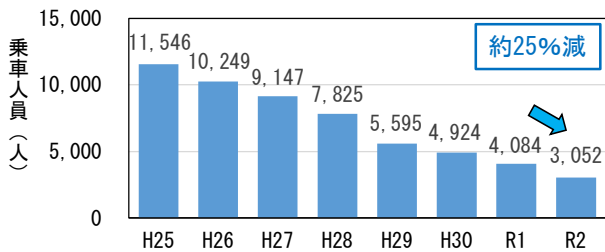
令和2年度の利用者減少の要因としては、新型コロナウイルスの影響や、人口減少、少子高齢化による中学生利用の減少、特定の高齢者利用の減少、運転できる高齢者の増加などが考えられます。

■全路線計

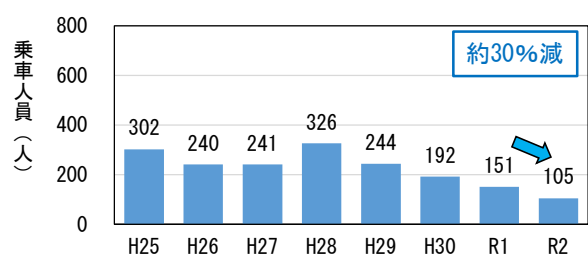


■各路線別

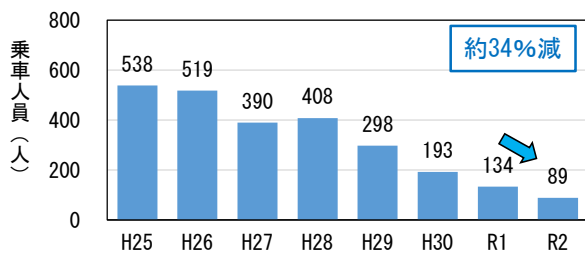
①大貝線



②八王子線



③法末線



資料： NPO 法人 MTN サポート

3) 川口地域

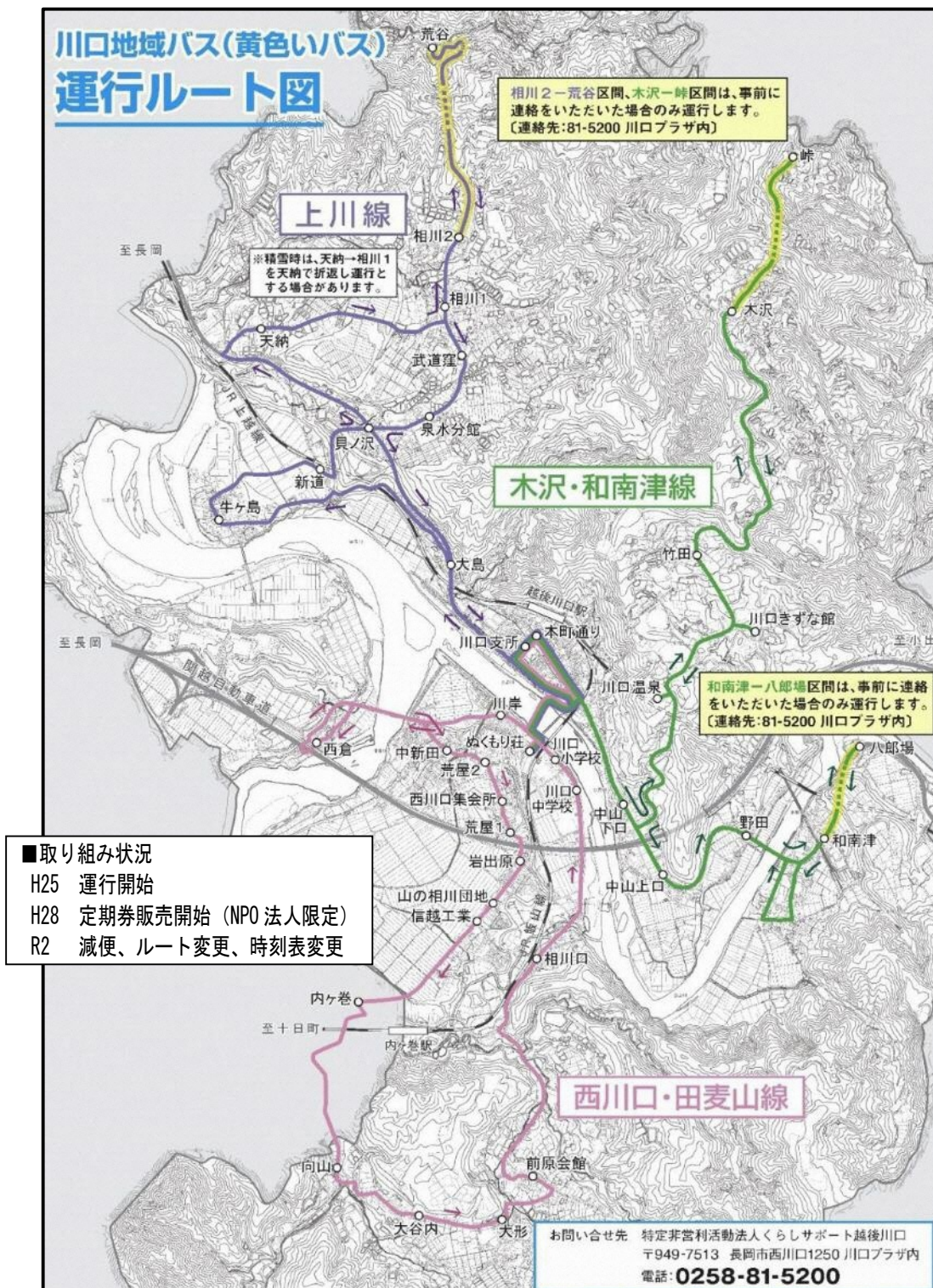
①運行内容

運行主体：NPO 法人くらしサポート越後川口

運行形態：コミュニティバス（黄色いバス）

運賃：大人 200 円、小学生 100 円、回数券、定期券（NPO 会員限定）

運休日：土日、年末年始（12/31～1/3）

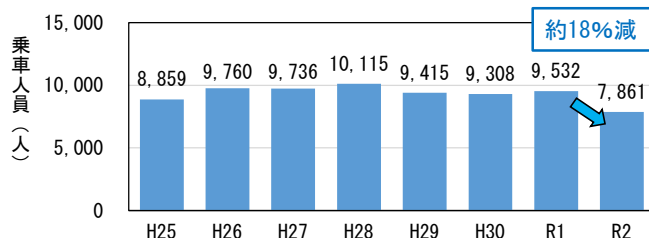


②利用状況

利用者は平成28年度をピークに減少傾向にあり、令和元年度と比べて全路線計では約18%減少しています。路線別では、西川口・田麦山線が約50%減、上川線が約14%減、和南津・木沢線が約31%増です。

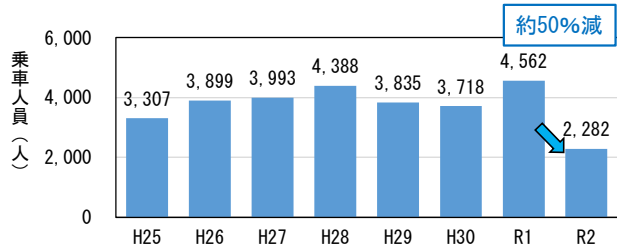
これは、運行順序の変更により、西川口・田麦山線の利用者が減少し、和南津・木沢線の利用者数が増加したと考えられます。また、西川口・田麦山線、上川線の利用者数減少の要因として、新型コロナウイルスの影響で高齢者の外出頻度が低下したことが考えられます。加えて、ゲートボール場などの屋内施設が一時閉鎖されたことによる影響や、温泉や買物等で利用していた方が外出を控えたことも一因であると考えられます。

■全路線計

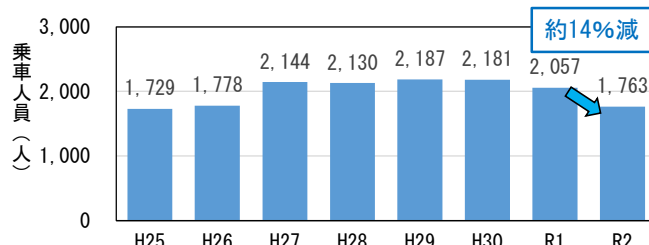


■各路線別

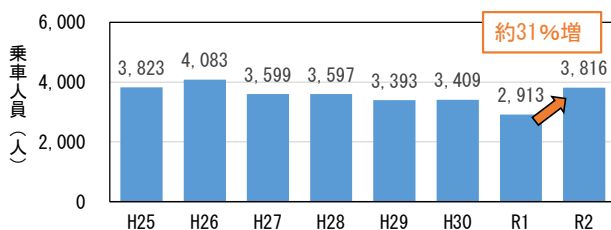
①西川口・田麦山線



②上川線



③和南津・木沢線



資料：NPO 法人くらしサポート越後川口

4) 和島地域

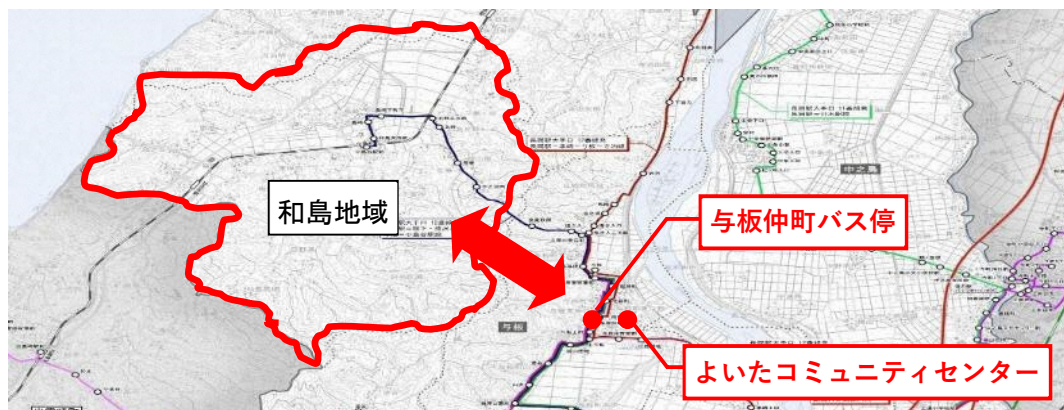
公共交通空白地が広がる和島地域では、令和 2 年度からデマンド型乗合タクシー（わし麻呂号）の実証運行を開始しました。比較的用户が多い午前便に絞ったうえで、令和 3 年 10 月から本格運行を開始します。

①運行内容

表 和島地域デマンド型乗合タクシー本格運行

| | |
|-------|--|
| 期間 | 令和 3 年 10 月 1 日～ |
| 根拠法令 | 道路運送法第 4 条 |
| 運送事業者 | 寺泊交通(株) |
| 使用車両 | ジャンボタクシー車両（乗客 9 名定員） 1 台 小型タクシー車両（乗客 4 名定員） 1 台 |
| 運行区域 | 和島地域（地域全域） 与板地域（よいたコミュニティセンター、与板仲町バス停） |
| 運行頻度 | 毎週 火・木・金曜日 8 時～12 時毎時便、14 時便 ※14 時便については毎週金曜日のみ運行 火・木 5 便/日 金 6 便/日 (祝日及び 12/29～1/3 は運休) |
| 利用方法 | 電話による事前予約制 |
| 運賃 | 和島地域内 200 円 和島地域～与板地域 2 地点 500 円 |
| 乗降位置 | 停留所は指定せず、ドアツードア運行 与板は乗降場所指定 |

■令和 3 年 10 月～本格運行区間



②利用状況

実証運行期間は需要を把握するため、設定便数を変えながら試行錯誤しましたが、本格運行を想定した時間帯に絞ると、全体として稼働率約 37%、延べ利用者数 378 人です（令和 2 年 10 月～令和 3 年 8 月）。地域内で運行する鉄道、路線バスを補足する移動手段としても利用されています。

5) 寺泊地域

寺泊地域では、令和3年度からデマンド型乗合タクシー（まりん号）の実証運行を実施する予定です。

① 運行内容

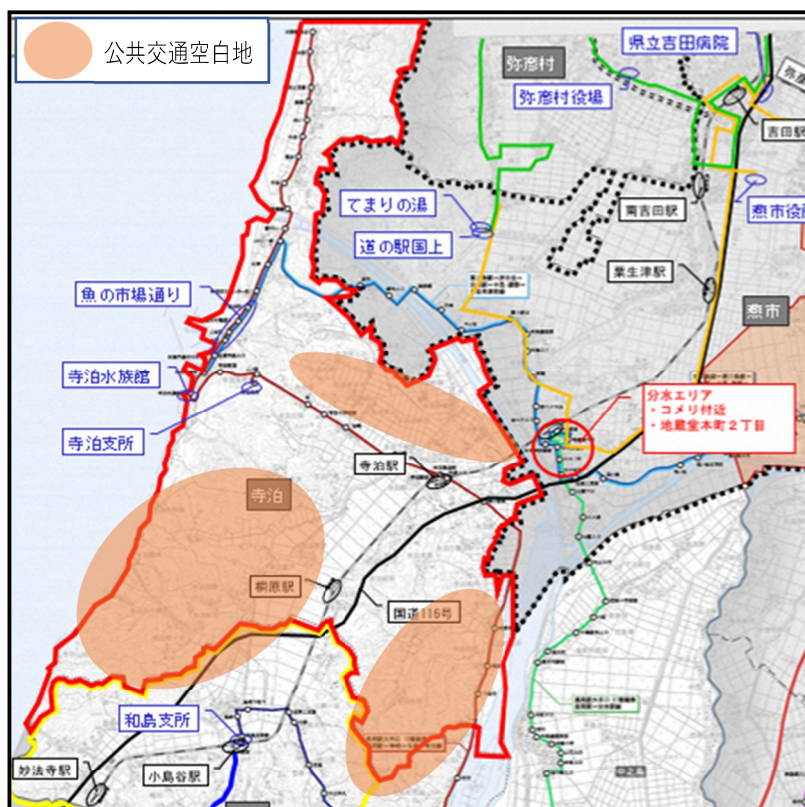
寺泊地域では、令和2年10月「長岡市寺泊地域生活交通検討委員会」を設立し、令和3年10月より実証運行開始予定（最長1年間）

表 寺泊地域デマンド型乗合タクシー実証運行

| | |
|-------|--|
| 期間 | 令和3年10月1日～令和4年3月31日 |
| 根拠法令 | 道路運送法第21条 |
| 運送事業者 | タクシー事業者 |
| 使用車両 | ジャンボタクシー車両（乗客9名定員）1台 小型タクシー車両（乗客4名定員）1台 |
| 運行区域 | 寺泊地域（地域全域）、燕市分水地区（2地点[コメリ付近、地藏堂本町2]） |
| 運行頻度 | 週3日（月・水・金） 8時30分～14時（5便/日予定） |
| 利用方法 | 事前予約制 |
| 運賃 | 寺泊地域内 200円 寺泊地域～分水地区2地点 400円 |
| 乗降位置 | 停留所は指定せず、ドアツードア運行 分水地区は乗降場所指定 |

■実証運行区域

寺泊地域全域（赤線内）＋燕市分水地区（2地点を目的地指定）



6) 栃尾地域

令和元年9月末にバス路線が一部廃止された地域において、令和元年10月からデマンド型乗合タクシー（景虎号）の実証運行を開始しました。令和3年3月末日に残っていたバス路線荷頃線も廃止され、4月から本格運行に移行しました。

通勤利用者が4月からデマンド型乗合タクシーに移行したこともあり、利用者数は大きく増加しており、廃止された路線バス利用者の代替交通として機能しています。通勤、通学等の定期利用は公共交通の利用に大きく影響するため、利用者の維持に努める必要があります。

①運行内容

| | |
|-------|--|
| 期間 | 令和3年4月1日～ |
| 根拠法令 | 道路運送法第4条 |
| 運送事業者 | タクシー事業者 |
| 使用車両 | ジャンボタクシー車両(乗客9名定員)1台 小型タクシー車両(乗客4名定員)1台 |
| 運行頻度 | 土日祝日含む毎日 1日6便 |
| 利用方法 | 電話による事前予約制 |
| 運賃 | 移動距離に応じて設定(200円～600円) |
| 乗降位置 | 基本的に停留所での乗降とする。 |



②利用実績

【実証運行】

| | |
|------|--------------------|
| 期間 | 令和元年10月～令和3年3月 |
| 利用者数 | 3,404人 |
| 運行便数 | 1,723便(計画便数2,740便) |
| 稼働率 | 62.9% |

【本格運行】

| | |
|------|----------------|
| 期間 | 令和3年4月～8月 |
| 利用者数 | 1,679人 |
| 運行便数 | 718便(計画便数918便) |
| 稼働率 | 78.2% |

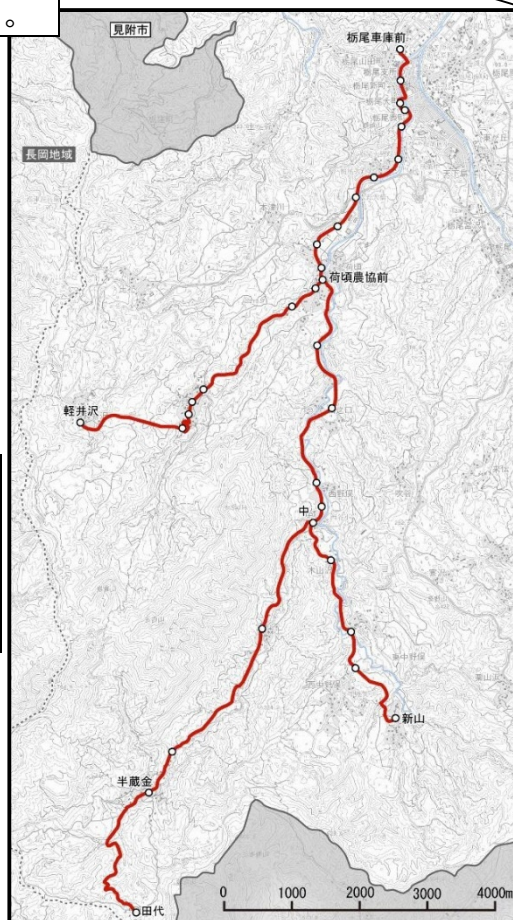
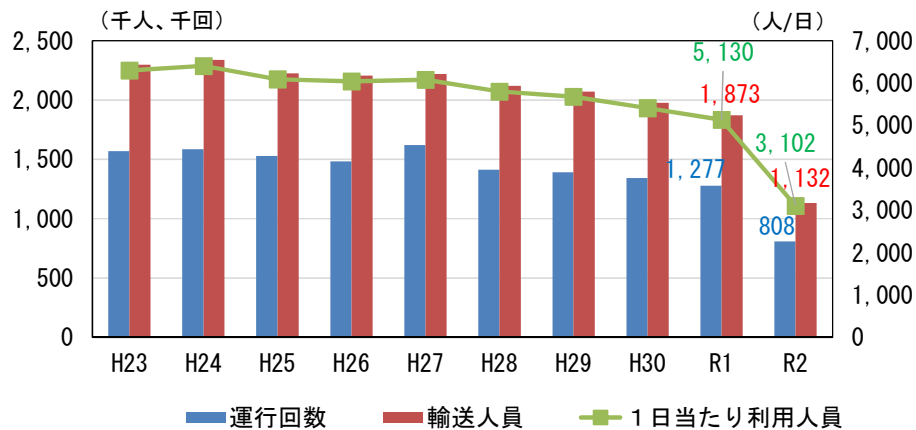


図 運行ルート

(4) タクシー

1) 利用状況

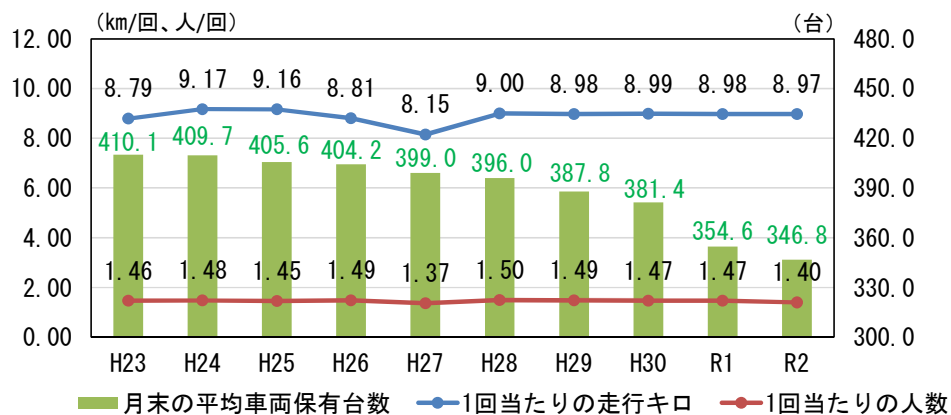
長岡市内に営業区域（一部のみ含）を持つ会社は 27 社あります。運行回数、輸送人員とも減少しており、令和元年は 1.8 百万人の利用であり、1 日あたりでは 5,130 人が利用しています。また、令和 2 年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、利用者が大幅に減少しました。



資料：一般社団法人新潟県ハイヤー・タクシー協会

図 タクシーの利用実績

また、運行回数、輸送人員とも減少していますが、1 回当たりの利用状況は大きく変化していません。一方、タクシー事業者の月末における平均車両保有台数も減少していることから、利用者数減少との相関関係が予想されます。

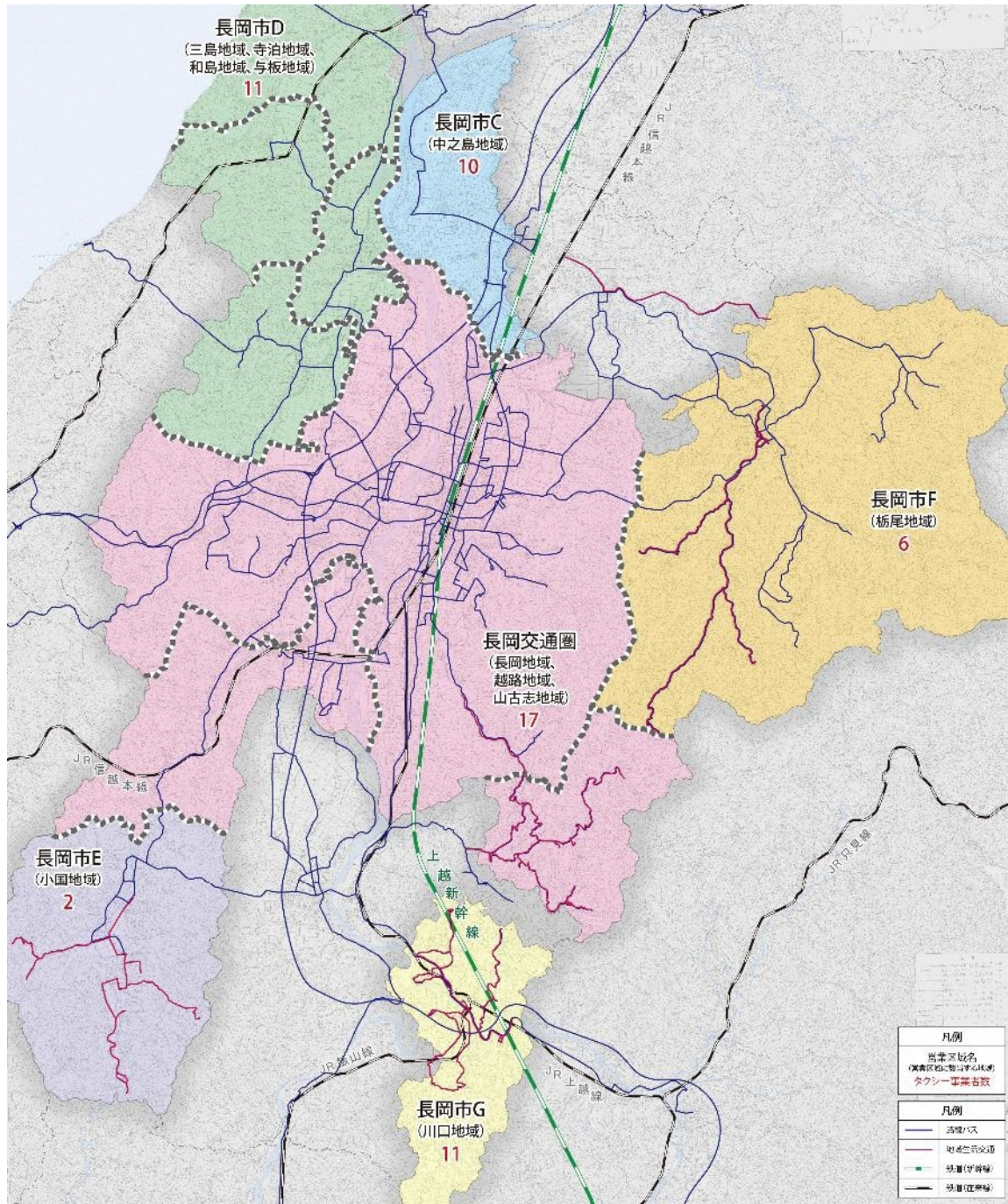


資料：一般社団法人新潟県ハイヤー・タクシー協会資料より試算

図 1 回当たりのタクシーの利用実績

2) 運行エリア

市内でも長岡交通圏（長岡地域、越路地域、山古志地域）での運行事業者が17社と多いですが、長岡市E（小国地域）では2社のみであり、長岡市F（栃尾地域）では6社と少ない状況です。また、本社があるタクシー事業者は、中之島地域では2社、小国地域では0社であり、タクシー事業者の維持確保も必要となっています。



資料：長岡市

図 営業区域別タクシー事業者数

表 営業区域別タクシー事業者

| 番号 | タクシー事業者 | 営業区域 | | | | | |
|----|---------------|-------------------------|--------------------------|------------------------------------|--------------|--------------|------------------------|
| | | 長岡交通圏 〔長岡、越路 山古志〕 | 長岡市C (三条市B舎) 〔中之島〕 | 長岡市D (三島郡舎) 〔三島、寺泊 和島、与板〕 | 長岡市E 〔小国〕 | 長岡市F 〔栃尾〕 | 長岡市G (魚沼市舎) 〔川口〕 |
| 1 | 三越タクシー 株式会社 | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| 2 | 中越交通 株式会社 | ○ | ○ | ○ | | | |
| 3 | 長岡タクシー 株式会社 | ○ | | ○ | | ○ | ○ |
| 4 | つばめタクシー 株式会社 | ○ | | ○ | | ○ | ○ |
| 5 | 株式会社 カンコー | ○ | ○ | | | | |
| 6 | 旭タクシー 株式会社 | ○ | | ○ | | | |
| 7 | 相互タクシー 株式会社 | ○ | | | | | |
| 8 | 有限会社 大手交通 | ○ | | | | | |
| 9 | 大河津観光 有限会社 | ○ (一部) | | ○ | | | |
| 10 | 有限会社 出雲崎交通 | ○ (一部) | | ○ | | | |
| 11 | 寺泊交通 株式会社 | ○ (一部) | | ○ | | | |
| 12 | 第2新興タクシー株式会社 | | ○ | | | | |
| 13 | 株式会社中央タクシー | | | ○ (一部) | | | |
| 14 | 地藏堂タクシー有限会社 | ○ (一部) | ○ | ○ (一部) | | | |
| 15 | 加茂タクシー有限会社 | | ○ | | | | |
| 16 | 三条タクシー株式会社 | | ○ | | | | |
| 17 | 日の丸観光タクシー株式会社 | ○ | ○ | | | | ○ |
| 18 | 株式会社エス. タクシー | | ○ | | | | |
| 19 | 柏崎交通株式会社 | ○ (一部) | | ○ | ○ | | |
| 20 | 大和タクシー株式会社 | | | | ○ | | |
| 21 | 株式会社 みつけタクシー | ○ (一部) | ○ | | | ○ | ○ (一部) |
| 22 | 栃尾タクシー 有限会社 | ○ (一部) | | | | ○ | ○ (一部) |
| 23 | 秋葉タクシー株式会社 | ○ (一部) | | | | ○ | ○ (一部) |
| 24 | 小千谷タクシー株式会社 | | | | ○ | | ○ |
| 25 | ひかり交通株式会社 | | | | | | ○ |
| 26 | 株式会社小出タクシー | | | | | | ○ |
| 27 | 奥只見タクシー株式会社 | | | | | | ○ |

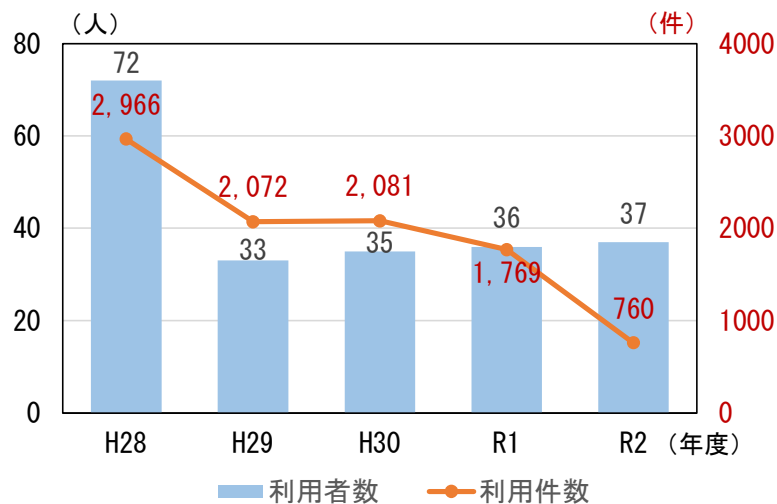
※ ■ 長岡市に本社がある事業者

資料：北陸信越運輸局

3. その他の交通

(1) 福祉有償運送

福祉有償運送を行っている法人は平成 28 年度では 3 法人でしたが、平成 29 年度以降 2 法人になりました。平成 29 年度以降は、利用者数は大きく変わらないものの、令和元年度から新型コロナウイルスの影響もあり、利用件数が減少しました。



資料：長岡市

図 福祉有償運送の利用状況

(2) スクールバス

9 の地域 23 の学校でスクールバスが運行されています。加えて、山古志地域生活交通の「クローバーバス」もスクールバスを兼ねているため、「三島」地域を除く、10 の地域でスクールバスが運行されています。

スクールバスは毎日運行されていることから、公共交通の代替手段として、移動手段の少ない地域や路線バスの運行頻度が少ない地域での混乗の可能性、空き時間の活用の可能性を検討することも可能です。

表 スクールバスが運行されている学校

| 地域 | 学校名 | 地域 | 学校名 | 地域 | 学校名 |
|-------|----------|------|--------|--------|--------|
| 長岡地域 | 岡南小学校 | 和島地域 | 和島小学校 | 栃尾地域 | 上塩小学校 |
| 中之島地域 | 中之島中央小学校 | 寺泊地域 | 寺泊小学校 | | 秋葉中学校 |
| | 上通小学校 | | 大河津小学校 | 刈谷田中学校 | |
| | 信条小学校 | | 寺泊中学校 | 与板地域 | 与板小学校 |
| | 中之島中学校 | 栃尾地域 | 南小学校 | 川口地域 | 川口小学校 |
| 越路地域 | 越路小学校 | | 東谷小学校 | | 川口中学校 |
| | 越路西小学校 | | 東小学校 | 特別支援学校 | 総合支援学校 |
| 小国地域 | 小国小学校 | | | 下塩小学校 | |

資料：長岡市

4. 公共交通の利用環境

(1) パークアンドライド

長岡市では、公共交通の利用促進に向けて、パークアンドライド駐車場の整備を進めており、前川駅東口側の整備が完了しました。現在、寺泊駅ではパークアンドライド駐車場を含めた駅前広場整備を進めています。

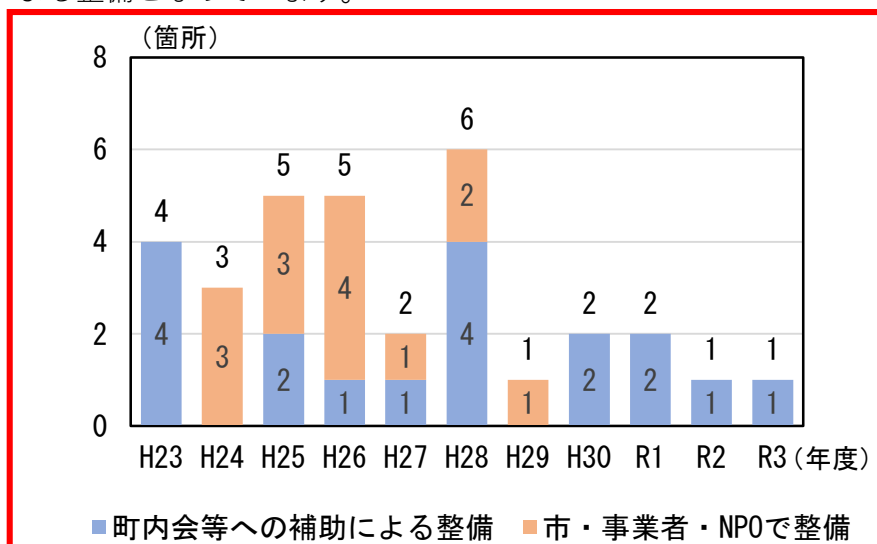


資料：長岡市

図 寺泊駅の整備イメージ

(2) バス停上屋整備

バス停の上屋整備は、平成 29 年度までは、主要な施設前や利用者が多い停留所を中心に長岡市や交通事業者等でも整備を進めてきましたが、平成 30 年度以降、主に町内会等への補助による整備となっています。



資料：長岡市

図 バス停上屋の整備状況